

# 直轄工事における総合評価落札方式等の実施状況 【令和元年度】

---



国土交通省

国土技術政策総合研究所

National Institute for Land and Infrastructure Management

国土交通省の地方整備局が令和元年度に契約した工事は、一般競争入札、指名競争入札、随意契約含め合計8,971件となっている。(※1) 国土交通省の直轄工事では平成17年に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を受け、総合評価落札方式を適用することにより公共工事の品質確保を図っており、この総合評価落札方式を適用した工事についてこれまでの経年状況と併せて概観するために、令和元年度年次報告として実施状況を整理した。(※2)

## 1. 総合評価落札方式の適用状況

- 令和元年度の総合評価落札方式適用率(※3)は件数ベースで98.1%、金額ベースで98.6%。(P1~2)
- 各契約タイプにおける内訳は件数ベースで施工能力評価型(Ⅱ型)が70.2%で最も多く、同(Ⅰ型)が24.4%、技術提案評価型(S型)が5.4%。金額ベースで施工能力評価型(Ⅱ型)が50.4%、同(Ⅰ型)が24.5%、技術提案評価型(S型)が25.1%。(P1~2)

## 2. 競争の程度の状況

- 1工事あたりの競争参加者数は施工能力評価型で4.5者、技術提案評価型(S型)で5.0者であり、4年連続で減少。WTO技術提案評価型(S型)(※4)については、1工事あたりの競争参加者数は14.1者で前年度より減少。(P4)

## 3. 落札率、入札率の状況

- 平均入札率は施工能力評価型(Ⅰ型・Ⅱ型)で令和元年度は94.6%であり、前年度から増加。WTO技術提案評価型(S型)については、令和元年度は94.6%。(P7)

## 4. 技術評価の状況

- 技術評価点1位と2位の得点差は技術提案評価型(S型)で平均3.3%、施工能力評価型で平均2.9%、WTO技術提案評価型(S型)は1.9%であり、WTO技術提案評価型(S型)が最も小さい。(P14)

## 5. 総合評価の特徴

- 落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合は、施工能力評価型で令和元年度は87.6%、技術提案評価型(S型)で85.5%であり、前年度より上昇。(P21)

## 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

- 工事成績評定点の平均は施工能力評価型(Ⅱ型)で79.0点、同(Ⅰ型)で79.8点、技術提案評価型(S型)で79.1点、WTO技術提案評価型(S型)で79.4点。(P35)

(※1) 国土交通省直轄工事等契約関係資料 令和元年度版(30年度実績)より 国土交通省の8地方整備局の契約工事、港湾・空港関係の工事を含む。

(※2) 当年次報告は総合評価落札方式の実施状況について経年変化を見るために分析を行ったもので、随意契約等の契約方式については対象としない。

(※3) 総合評価落札方式実施数/契約数(総合評価落札方式+価格競争)により算出している。

(※4) 「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうち、WTO対象額以上の工事を示す。

1. 総合評価落札方式の適用状況	1
2. 競争の程度の状況	4
3. 落札率・入札率の状況	6
4. 技術評価の状況	13
5. 総合評価の特徴	21
6. 総合評価の導入と工事成績評定点	34

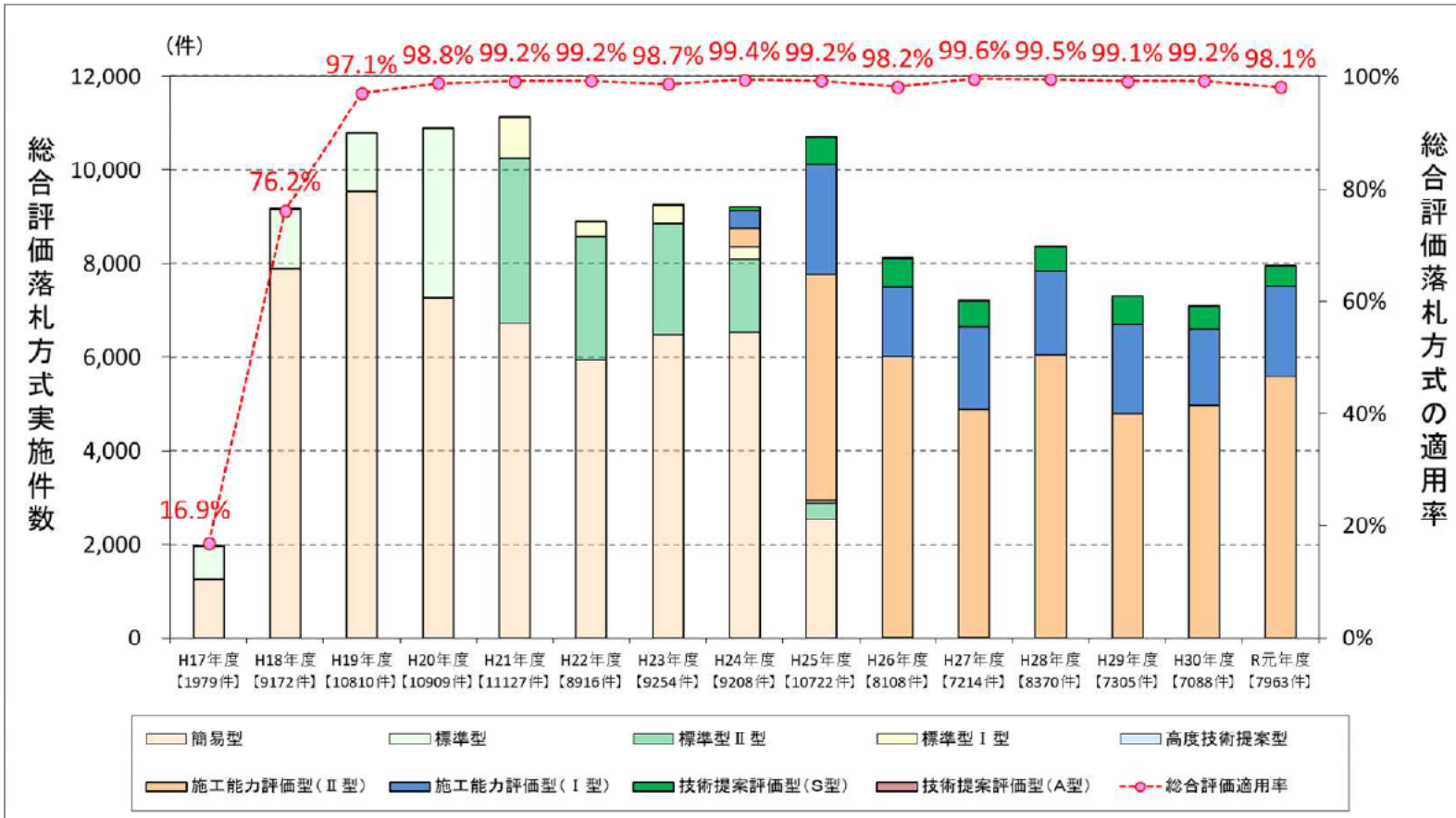
# 1. 総合評価落札方式の適用状況

## (1) 総合評価落札方式適用件数、金額〔経年の推移〕

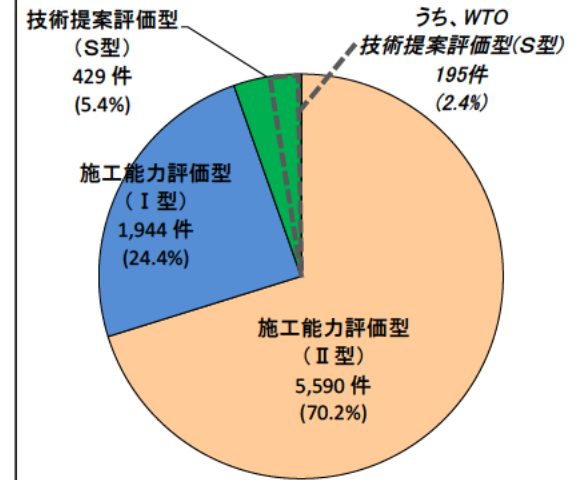
### ①実施件数

- 令和元年の総合評価落札方式適用率<sup>(※)</sup>は件数ベースで98.1%となっている。
- 各契約タイプにおける内訳は、施工能力評価型(Ⅱ型)が件数70.2%、同様に同(Ⅰ型)が24.4%、技術提案評価型(S型)が5.4%、技術提案評価型(A型)が0.0%(0件)となっている。

【実施件数(平成17年度～令和元年度)】



【件数シェア(令和元年度)】



注1) 8地方整備局の工事を対象(港湾・空港関係工事を含む)

注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事件数に対する総合評価落札方式実施件数の割合

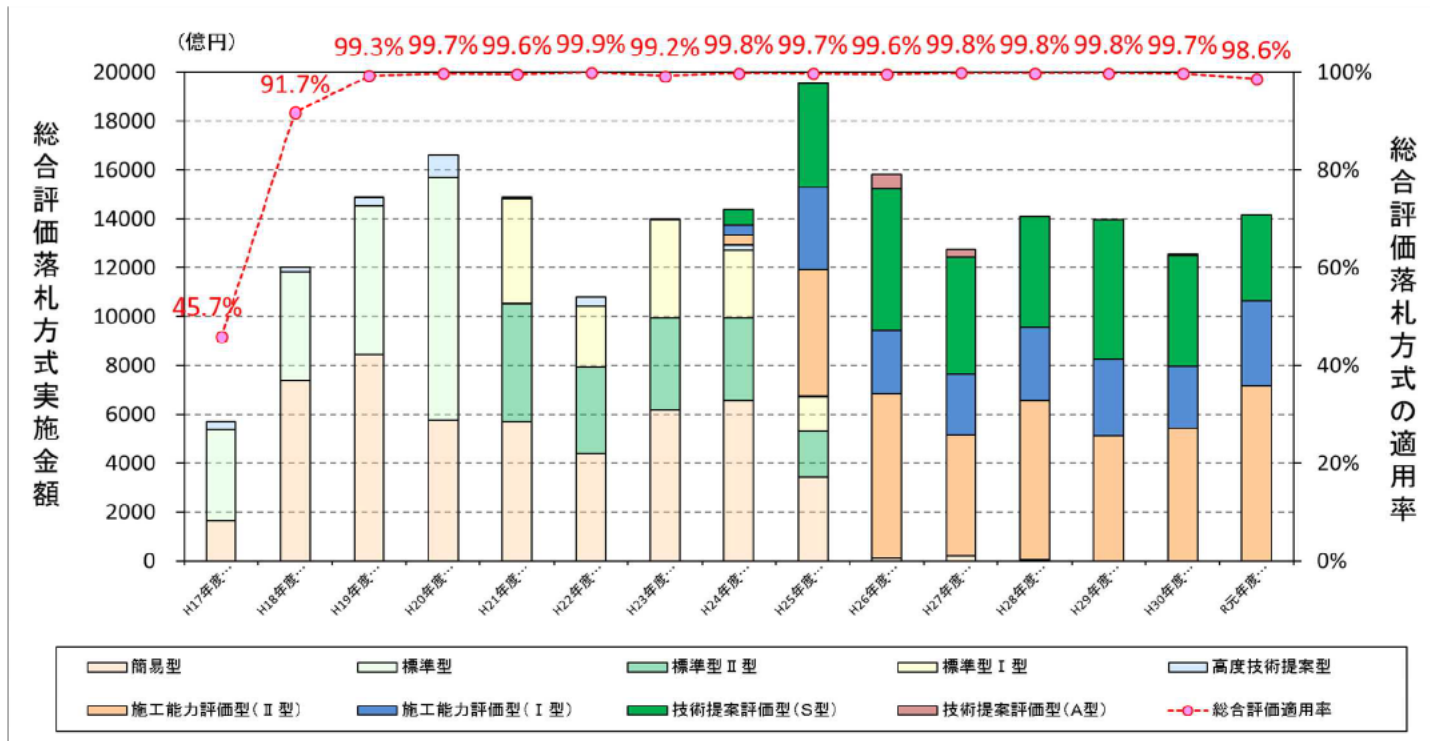
注3) 平成30年度は上記の他、技術提案・交渉方式による手続きを経た工事1件および価格競争による工事56件の契約を締結

# 1. 総合評価落札方式の適用状況

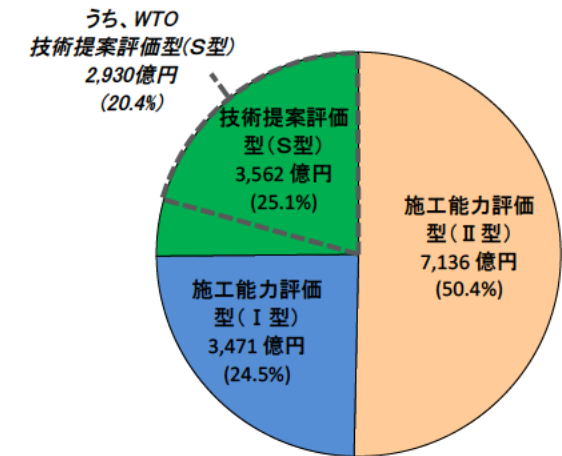
## ②実施金額（契約額）

- 令和元年度の総合評価落札方式適用率は金額ベースで98.6%となっている。
- 各契約タイプにおける金額ベースの内訳は、施工能力評価型（Ⅱ型）が50.4%、同（Ⅰ型）が24.5%、技術提案評価型（S型）が25.1%、技術提案評価型（A型）が0.0%（0件）となっている。

【 実施金額（平成17年度～令和元年度） 】



【 金額シェア（令和元年度） 】



注1) 8地方整備局の工事を対象（港湾・空港関係工事を含む）

注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事金額に対する総合評価落札方式実施金額の割合

注3) 実施金額は契約額（税抜）

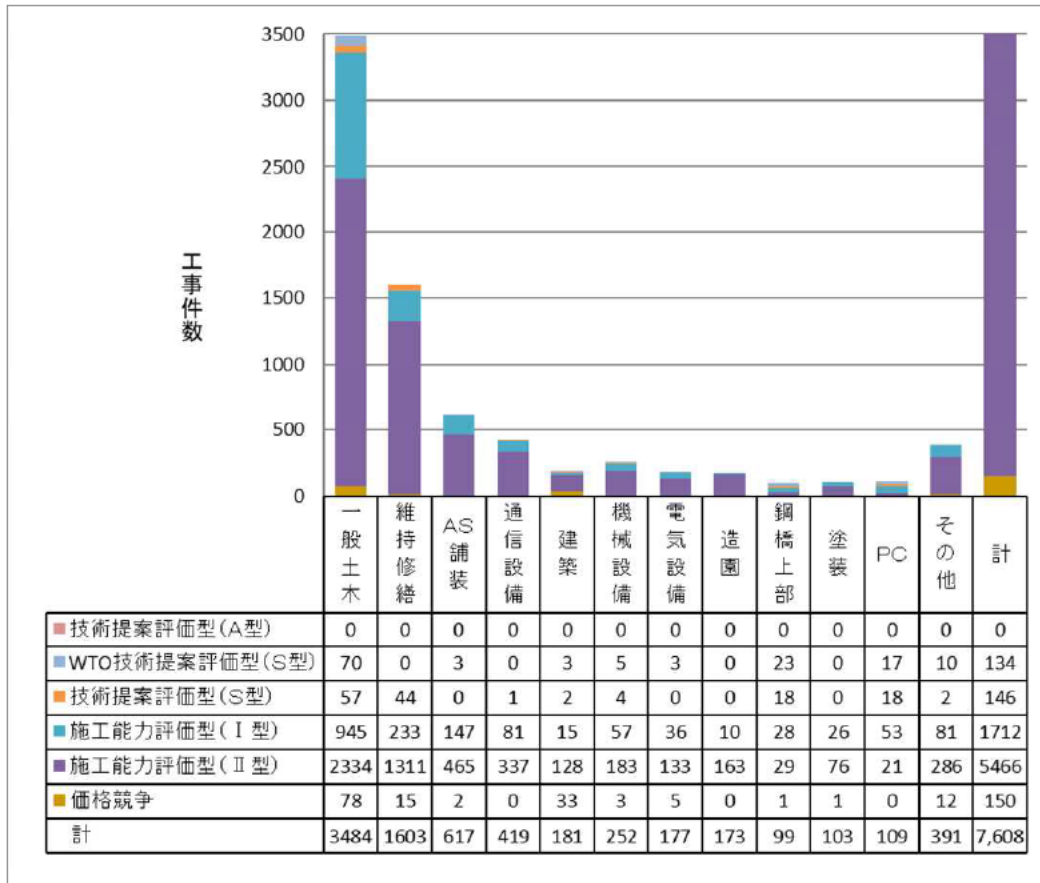
注4) 平成30年度は上記の他、技術提案・交渉方式による手続きを経た19.8億円（1件）の工事および価格競争による41.15億円（56件）の工事の契約を締結

# 1. 総合評価落札方式の適用状況

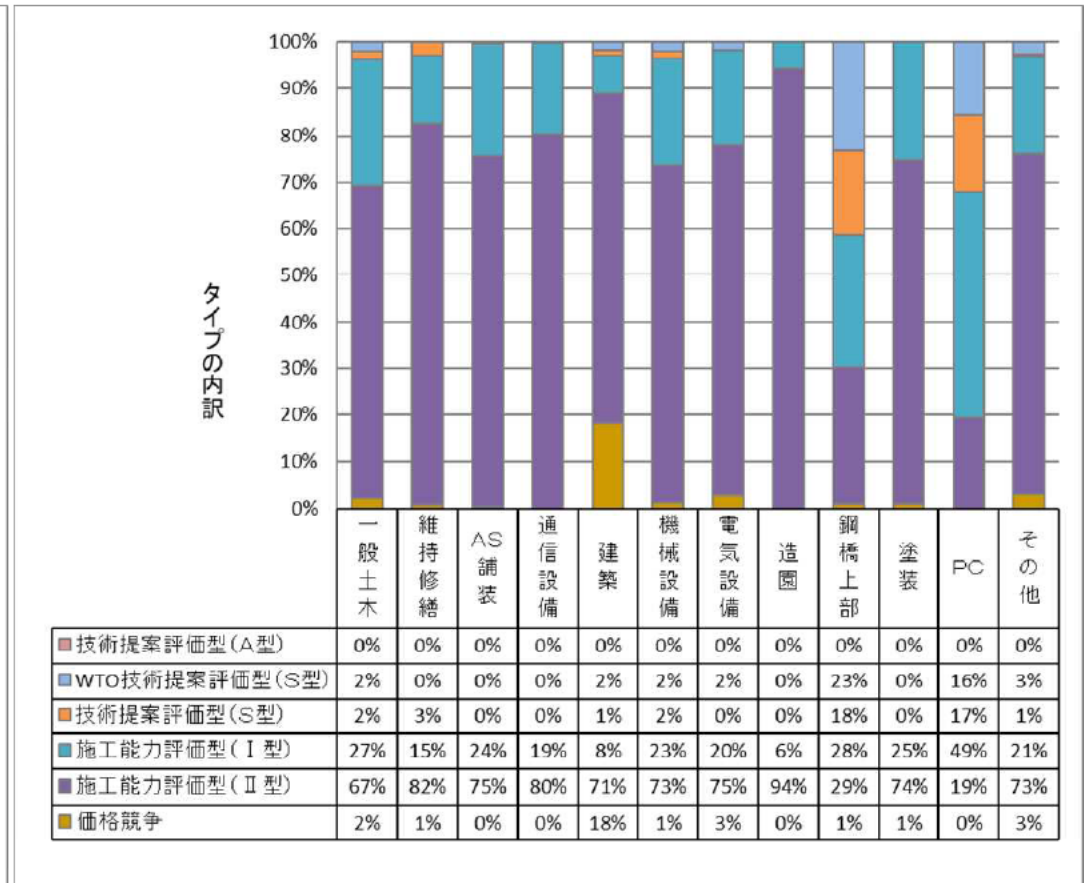
## (2) 契約タイプの適用状況 工事種別〔令和元年度〕

- 技術提案評価型を適用した工事の割合は、鋼橋上部で41%、PCで33%となっている。
- 施工能力評価型の適用は一般土木で94%となっている他、鋼橋上部とPC、建築以外の工事は施工能力評価型の適用が90%を超えている。

【 工事種別ごとの工事件数 】



【 工事種別ごとの割合 】



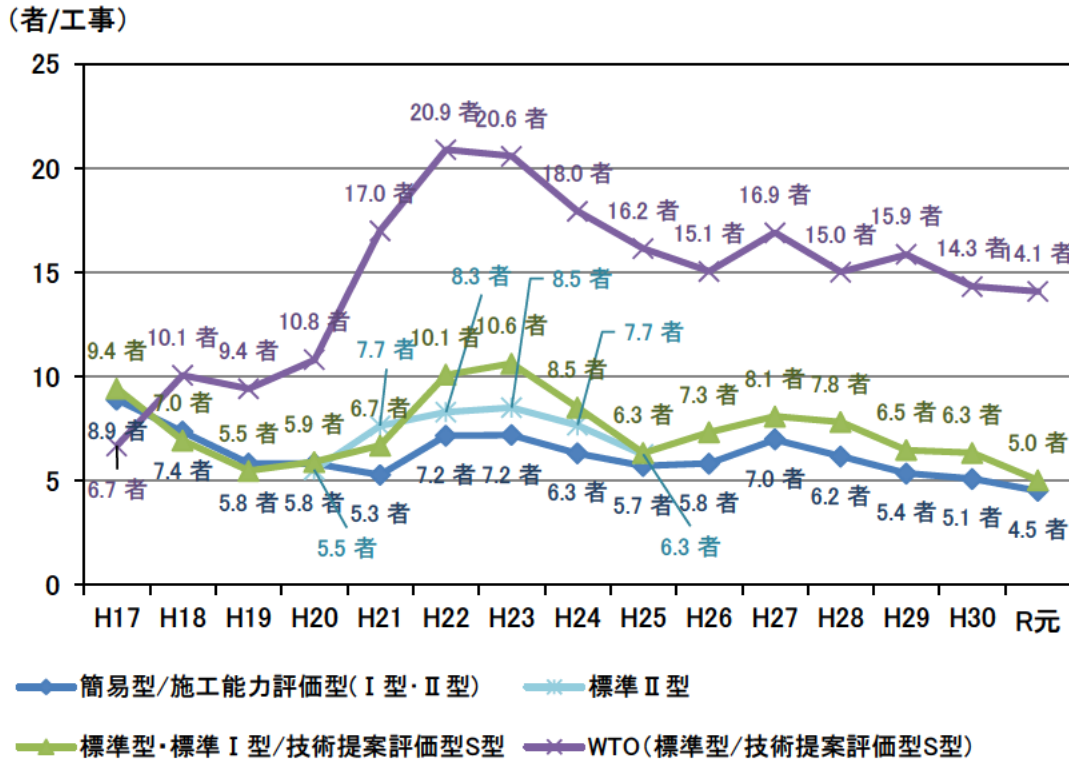
注1) 8地方整備局の工事のうち、港湾・空港関係を除く工事を対象

## 2. 競争の程度の状況

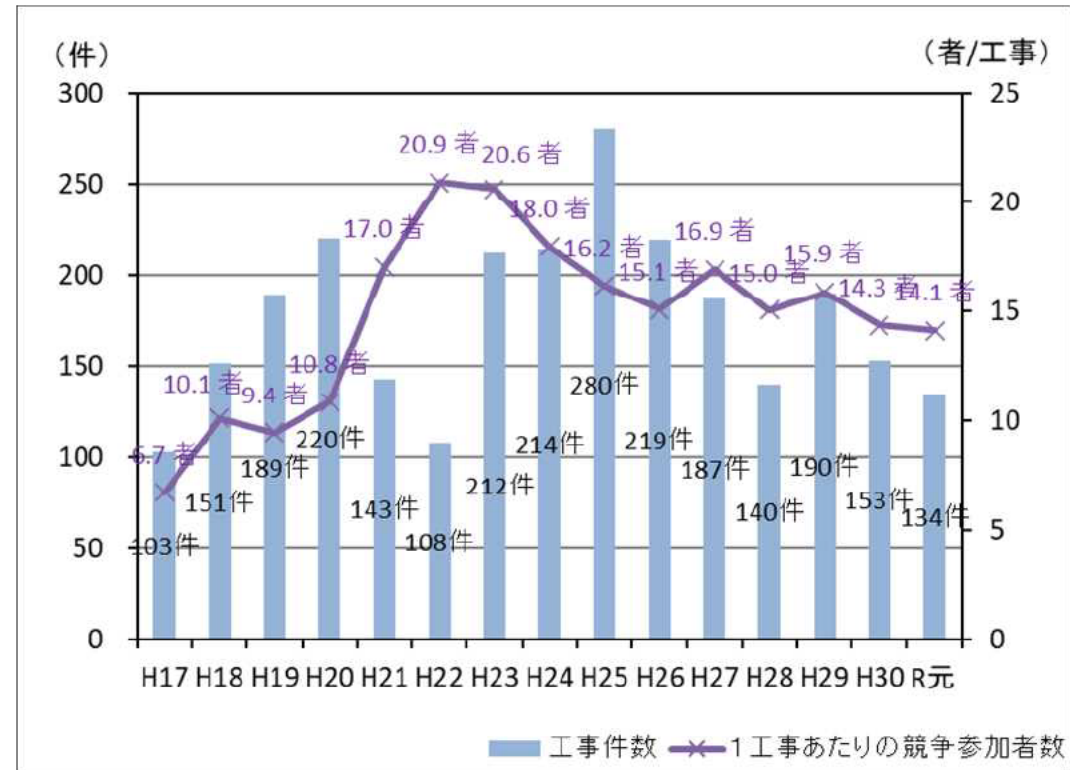
### (1) 1工事あたりの競争参加者数〔経年の推移〕

- 1工事あたりの競争参加者数は、施工能力評価型で4.5者、技術提案評価型(S型)で5.0者となっており、4年連続で減少している。
- WTO技術提案評価型(S型)の令和元年度の1工事あたりの競争参加者数は14.1者で前年度より減少している。

【 1工事あたりの競争参加者数 】



【 工事件数の推移と1工事あたりの競争参加者数 】  
(WTO標準型/WTO技術提案評価型S型)



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型  
・加算方式の試行工事(平成19年度)

注2) 平成22年度以前の競争参加者数は7地方整備局で集計

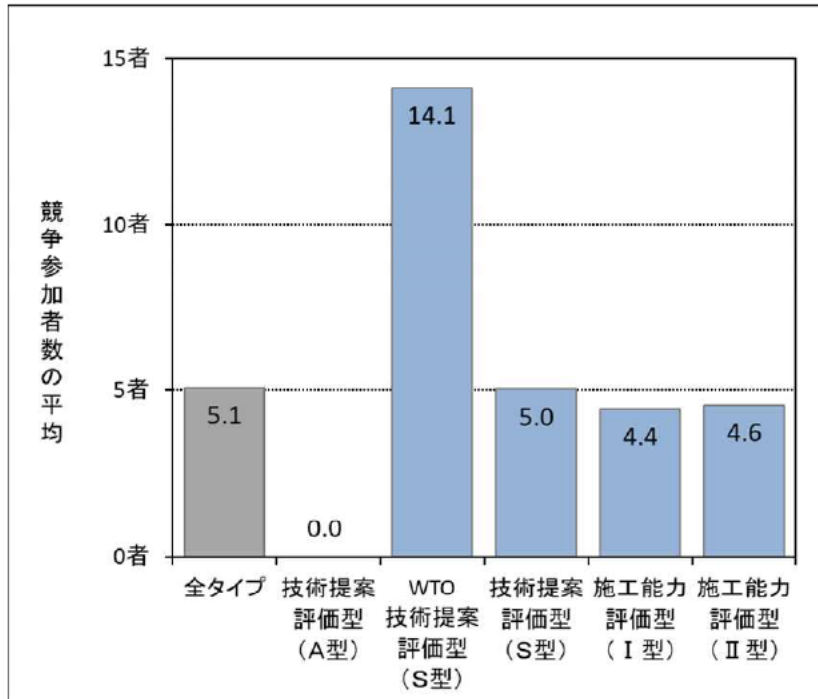
注3) 競争参加者数には無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

注4) 「WTO(標準型)」は、標準I型、標準II型のうちWTO対象額以上の工事、「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうちWTO対象額以上の工事を示す。(以後、同様)

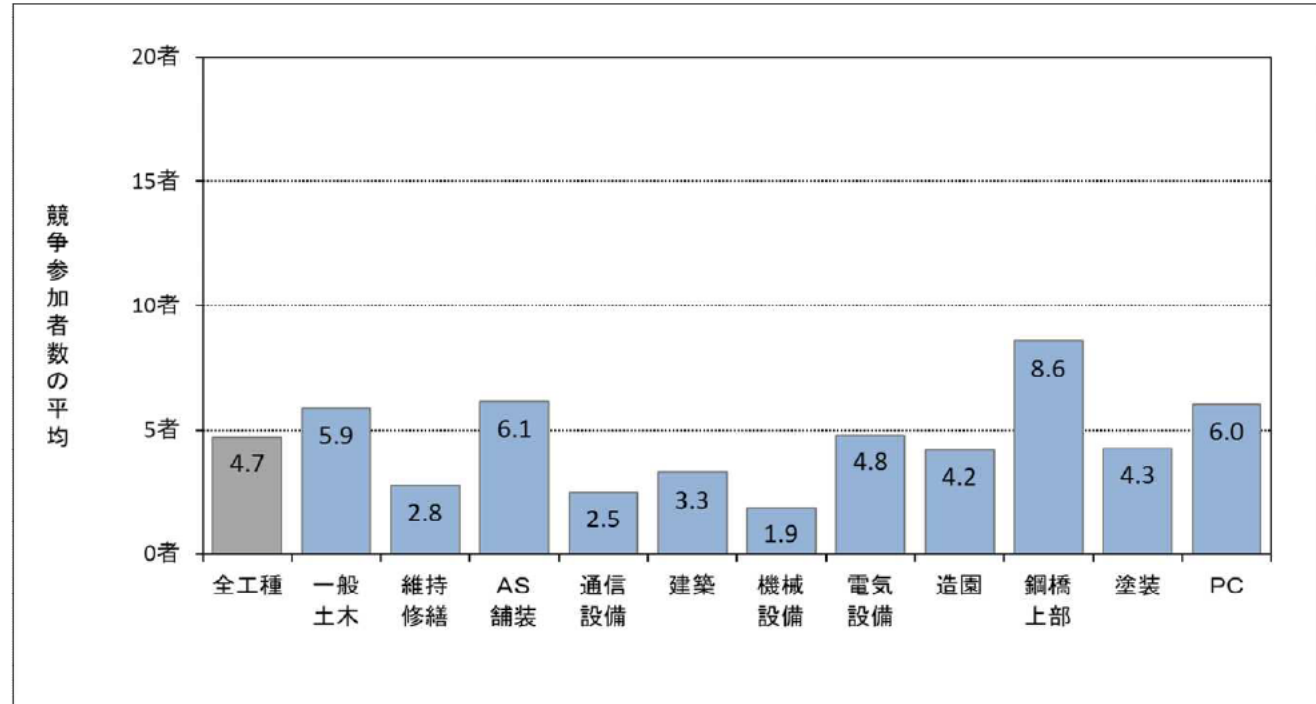
## 2. 競争の程度の状況

### (2) 契約タイプ別、工事種別別の競争参加状況〔令和元年度〕

- 総合評価の契約タイプ別では、施工能力評価型(Ⅱ型)の競争参加者数は平均4.6者となっている。WTO技術提案評価型(S型)では平均14.1者と多くなっている。
- 工事種別別では、一般土木は平均5.9者、AS舗装で6.1者、電気設備で4.8者、鋼橋上部で8.6者、PCで6.0者と多くなっている。



※ 技術提案評価型(A型)の工事はなし



注1) 8地方整備局の工事のうち、港湾・空港関係を除く工事を対象  
注2) 競争参加者数には、無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

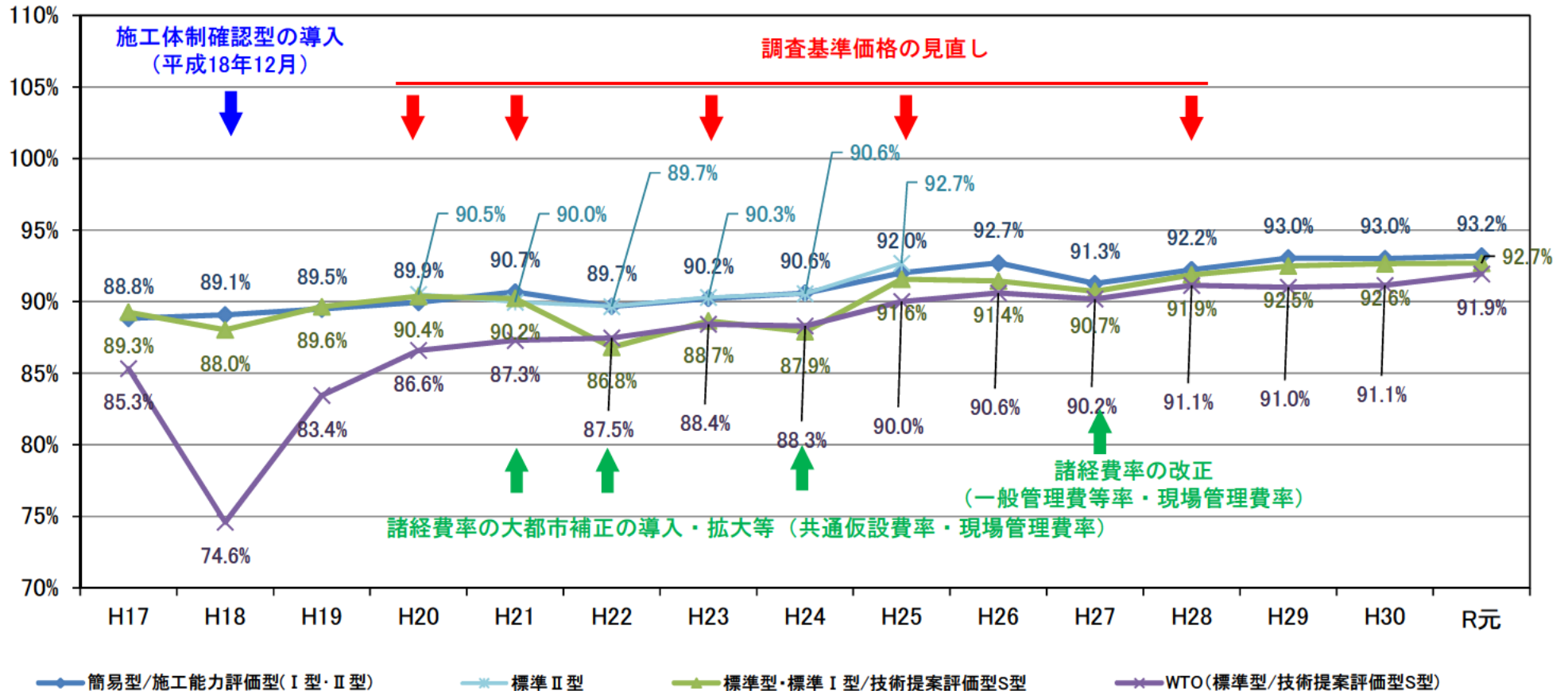


# 3. 落札率・入札率の状況

## (1) 平均落札率〔経年変化〕 (平均落札率:各工事の「落札価格/予定価格」を平均したもの)

- 平均落札率は、施工能力評価型(I型・II型)で令和元年度は93.2%でやや上昇している。施工体制確認型が導入された平成18年の89.1%から4.1%の上昇となっている。
- WTO技術提案評価型(S型)の平均落札率は、令和元年度は91.9%となっている。

【落札率の経年変化】



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事・価格競争・高度技術提案型/技術提案評価型A型・加算方式の試行工事(平成19年度)

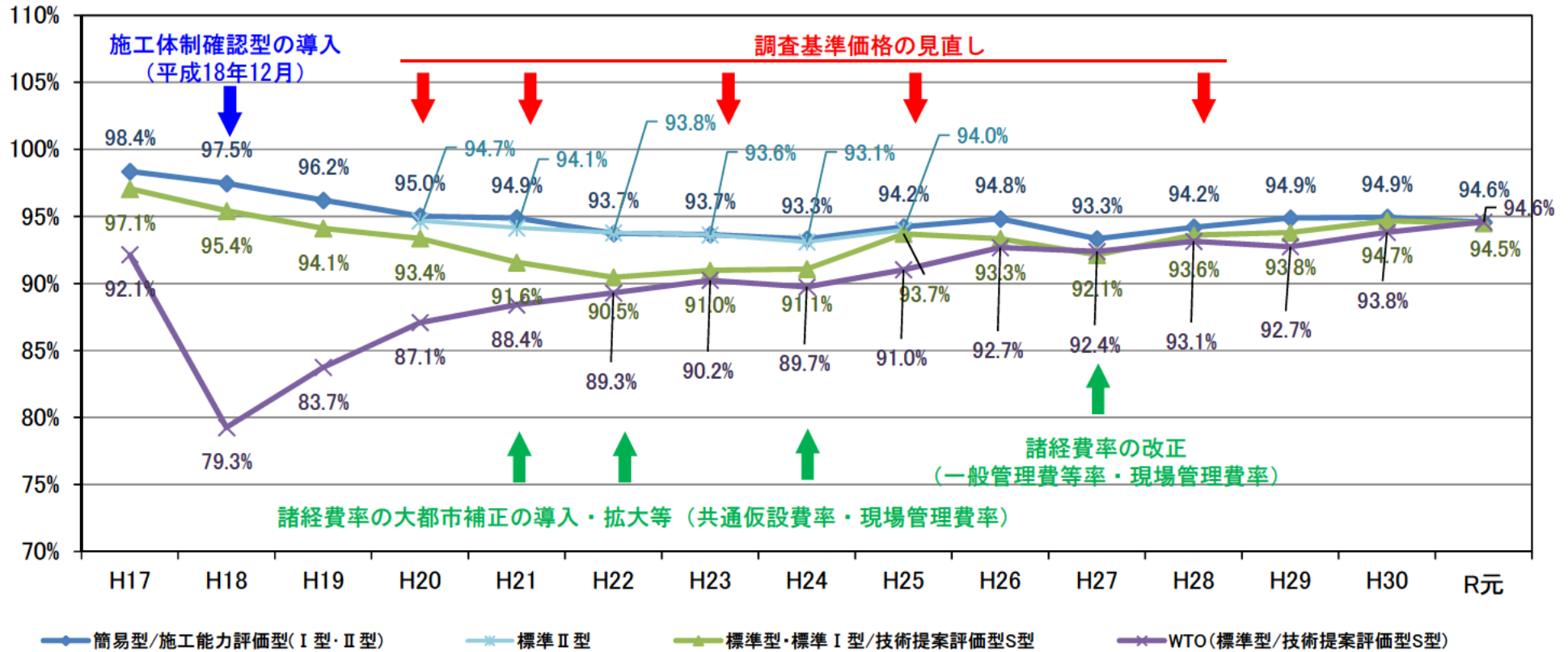
(落札者の「落札価格/予定価格」を、各タイプ別に年度ごとに平均した値)

# 3. 落札率・入札率の状況

## (2) 平均入札率〔経年変化〕 (平均入札率:各工事の「入札価格/予定価格」を平均したもの)

- 平均入札率は、施工能力評価型(I型・II型)で令和元年度は94.6%であり、前年度から0.3%減少。
- WTO技術提案評価型(S型)の平均入札率は、令和元年度は94.6%であり、前年度から0.8%増加。

【入札率の経年変化】



(入札参加者(無効・辞退等を除く)の「入札価格/予定価格」を、各タイプ別に年度ごとに平均した値)

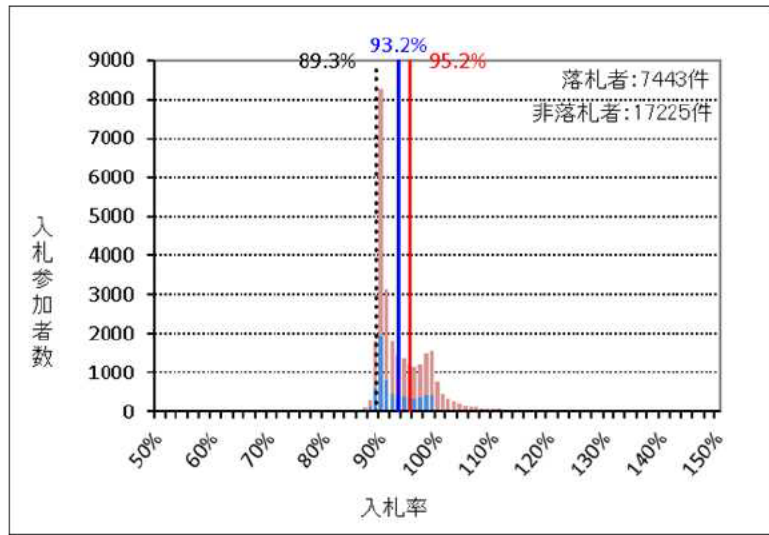
注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

# 3. 落札率・入札率の状況

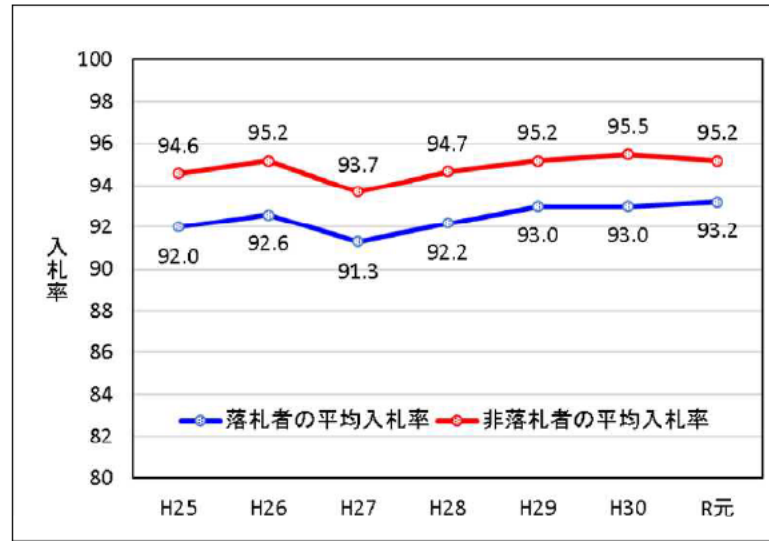
## (3) 入札率の分布〔経年変化〕

■ 入札率の分布は調査基準価格付近で多く、落札者の平均入札率は令和元年度に93.2%で平成30年度から0.2%上昇し、非落札者の平均入札率は同95.2%で0.3%減少している。

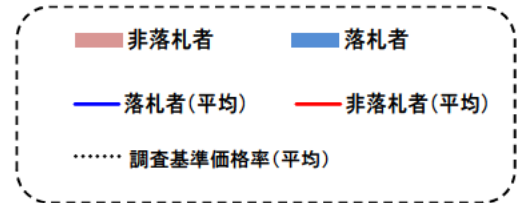
【令和元年度】



【平均入札率の経年変化】



〔凡例〕



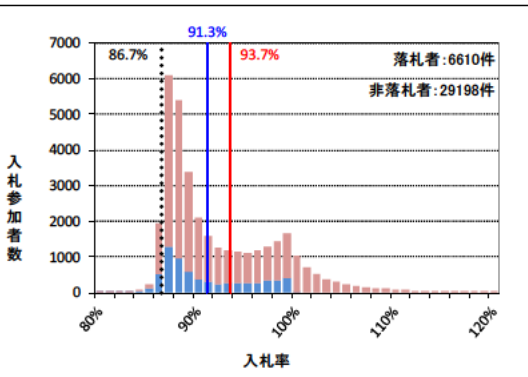
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・調査基準価格が設定されていない工事

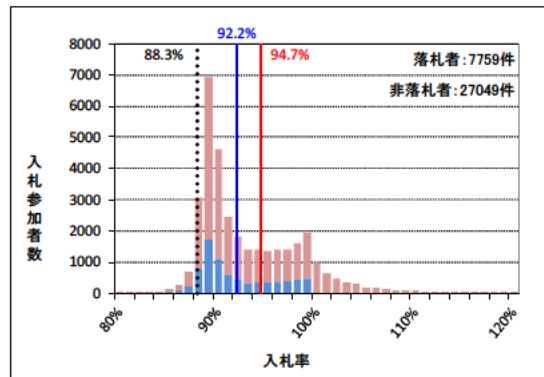
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

注3) 「調査基準価格率」とは、調査基準価格を予定価格で除して算出した数値

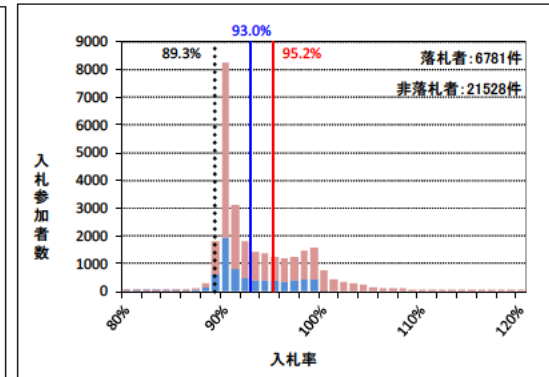
【平成27年度】



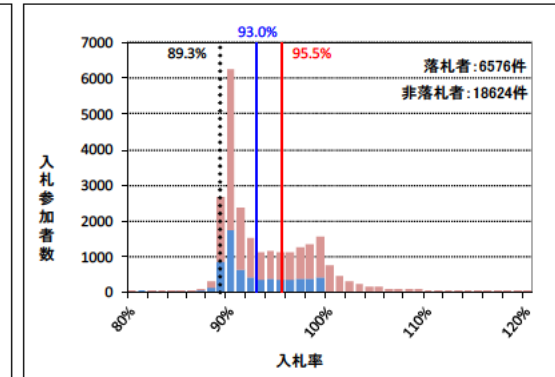
【平成28年度】



【平成29年度】



【平成30年度】



# 3. 落札率・入札率の状況

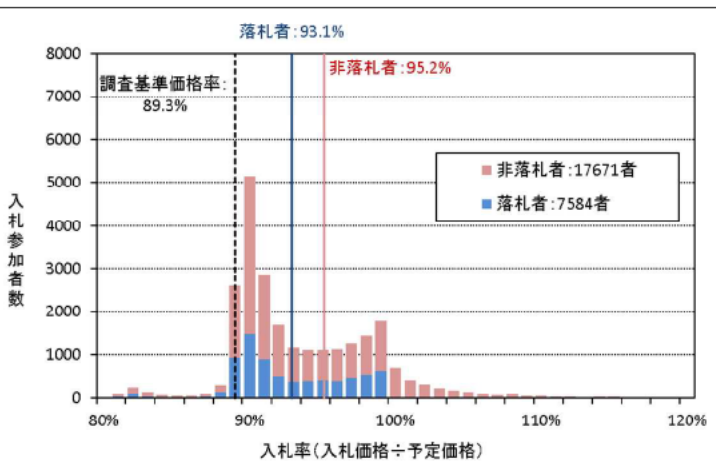
## (4) 入札率の分布〔令和元年度〕

### ① 工事種別別

- 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは、入札率の分布が調査基準価格付近に集中している。
- 維持修繕、機械設備では、調査基準価格付近の他、予定価格付近にも集中している。

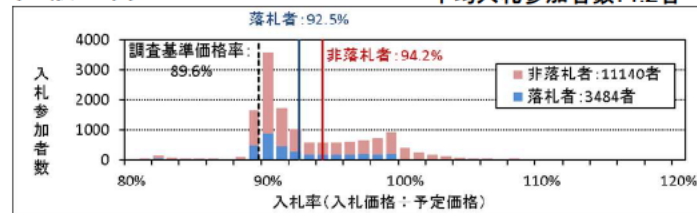
〔全工事種別〕

工事件数: 7,584件  
平均工事規模(予定価格): 197百万円  
平均入札参加者数: 3.3者



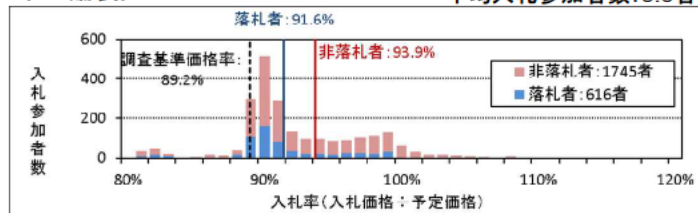
〔一般土木〕

工事件数: 3,484件  
平均工事規模(予定価格): 241百万円  
平均入札参加者数: 4.2者



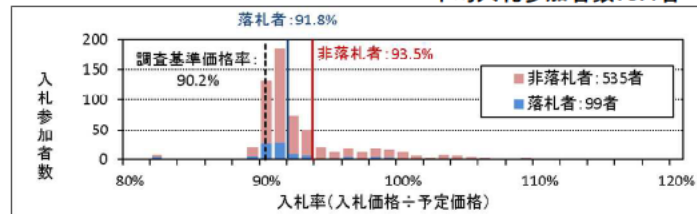
〔AS舗装〕

工事件数: 616件  
平均工事規模(予定価格): 176百万円  
平均入札参加者数: 3.8者



〔鋼橋上部〕

工事件数: 99件  
平均工事規模(予定価格): 579百万円  
平均入札参加者数: 6.4者



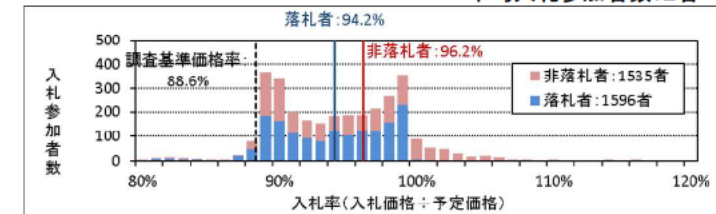
〔PC〕

工事件数: 109件  
平均工事規模(予定価格): 442百万円  
平均入札参加者数: 4.8者



〔維持修繕〕

工事件数: 1,596件  
平均工事規模(予定価格): 131百万円  
平均入札参加者数: 2者



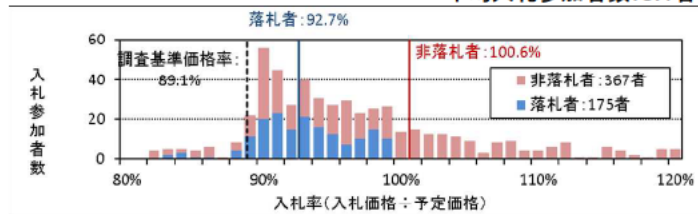
〔機械設備〕

工事件数: 252件  
平均工事規模(予定価格): 139百万円  
平均入札参加者数: 1.6者



〔電気設備〕

工事件数: 175件  
平均工事規模(予定価格): 141百万円  
平均入札参加者数: 3.1者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事  
・調査基準価格が設定されていない工事

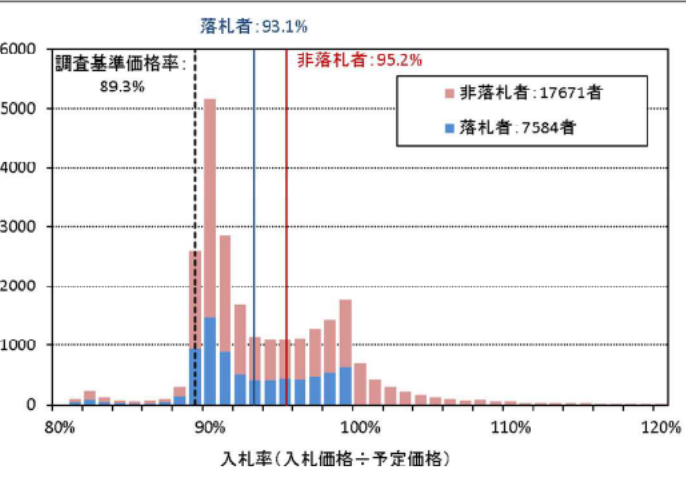
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込)とする。

# 3. 落札率・入札率の状況

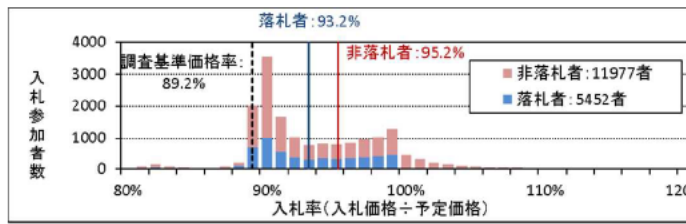
## ②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、「入札率」の分布が他の契約タイプよりも調査基準価格付近に集中している。

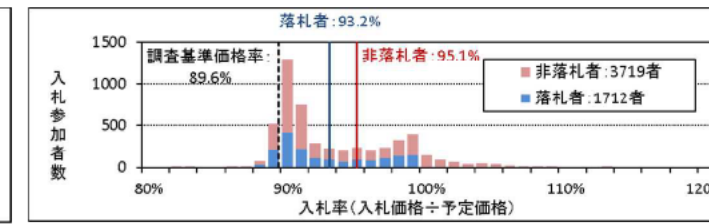
工事件数:7,584件  
 平均工事規模(予定価格):197百万円  
 平均入札参加者数:3.3者  
 [全タイプ]



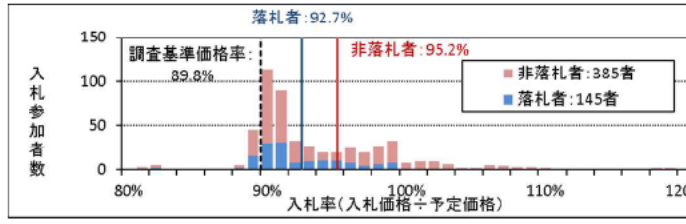
工事件数:5,452件  
 平均工事規模(予定価格):149百万円  
 平均入札参加者数:3.2者  
 [施工能力評価型(Ⅱ型)]



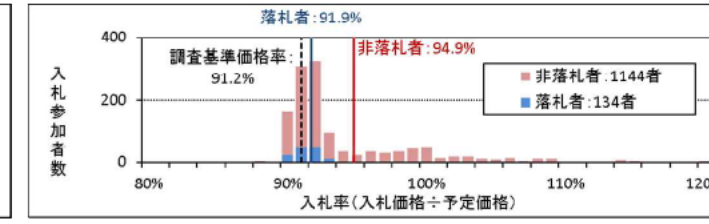
工事件数:1,712件  
 平均工事規模(予定価格):207百万円  
 平均入札参加者数:3.2者  
 [施工能力評価型(Ⅰ型)]



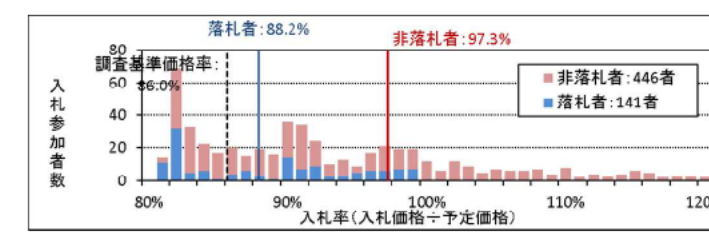
工事件数:145件  
 平均工事規模(予定価格):279百万円  
 平均入札参加者数:3.7者  
 [技術提案評価型(S型)]



工事件数:134件  
 平均工事規模(予定価格):1,916百万円  
 平均入札参加者数:9.5者  
 [WTO技術提案評価型(S型)]



工事件数:141件  
 平均工事規模(予定価格):179百万円  
 平均入札参加者数:4.2者  
 [価格競争]



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・調査基準価格が設定されていない工事

注2)入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
 注3)平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 3. 落札率・入札率の状況

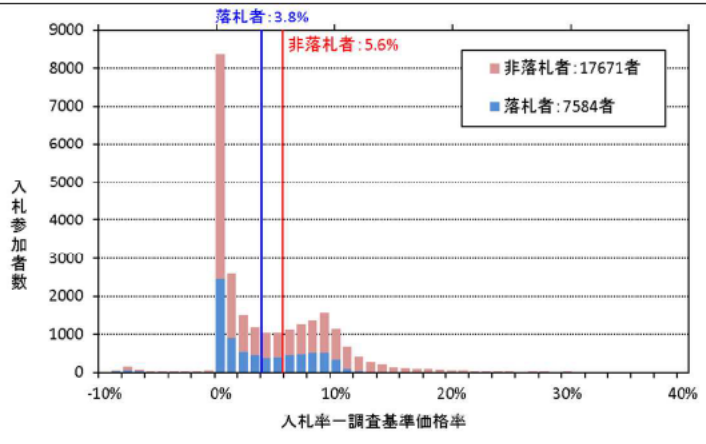
## (5) 「入札率-調査基準価格率」の分布〔令和元年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは、「入札率と調査基準価格率の差」の分布が他の工事種別よりも0%付近に集中している。

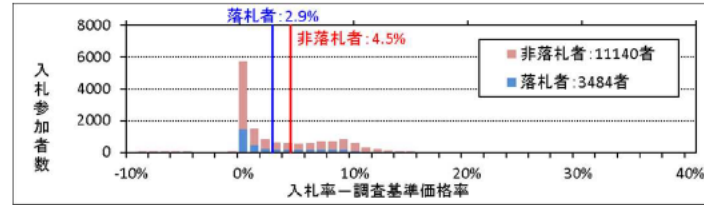
〔全工事種別〕

工事件数:7,584件  
平均工事規模(予定価格):197百万円  
平均入札参加者数:3.3者



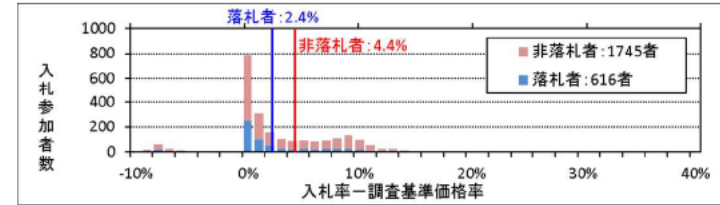
〔一般土木〕

工事件数:3,484件  
平均工事規模(予定価格):241百万円  
平均入札参加者数:4.2者



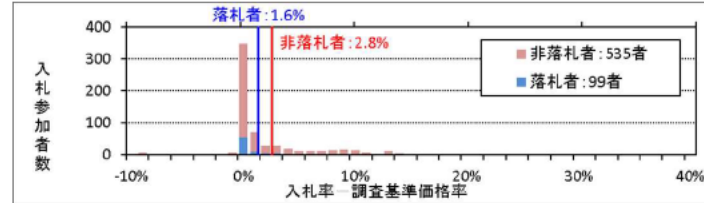
〔AS舗装〕

工事件数:616件  
平均工事規模(予定価格):176百万円  
平均入札参加者数:3.8者



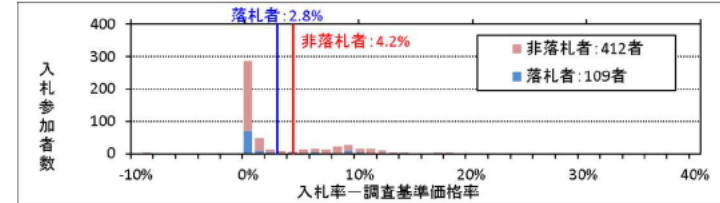
〔鋼橋上部〕

工事件数:99件  
平均工事規模(予定価格):579百万円  
平均入札参加者数:6.4者



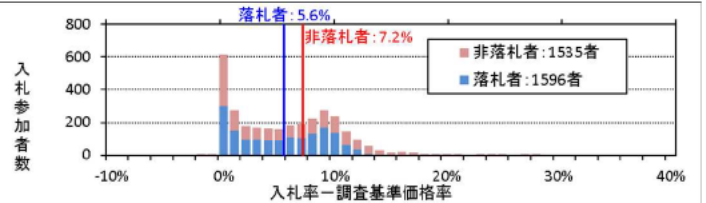
〔PC〕

工事件数:109件  
平均工事規模(予定価格):442百万円  
平均入札参加者数:4.8者



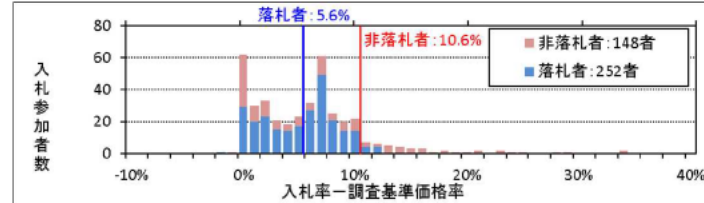
〔維持修繕〕

工事件数:1,596件  
平均工事規模(予定価格):131百万円  
平均入札参加者数:2者



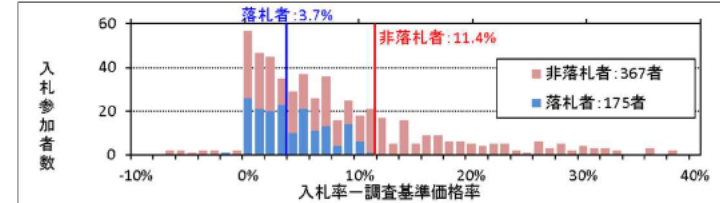
〔機械設備〕

工事件数:252件  
平均工事規模(予定価格):139百万円  
平均入札参加者数:1.6者



〔電気設備〕

工事件数:175件  
平均工事規模(予定価格):141百万円  
平均入札参加者数:3.1者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事  
・調査基準価格が設定されていない工事

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

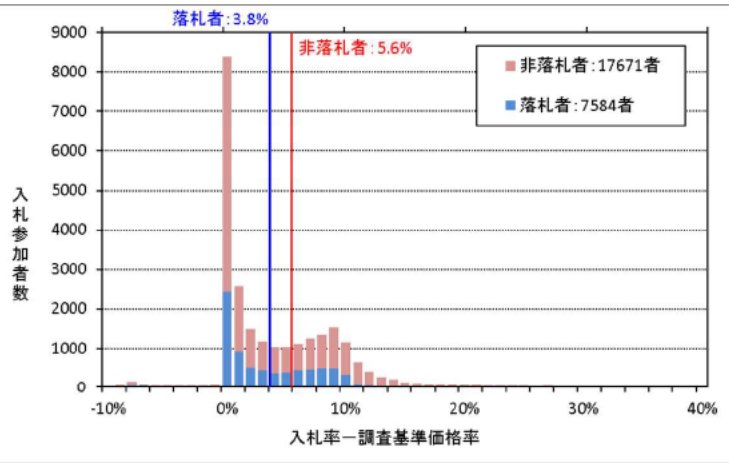
# 3. 落札率・入札率の状況

## ②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、「入札率と調査基準価格率の差」の分布が他の契約タイプよりも0%付近に集中している。

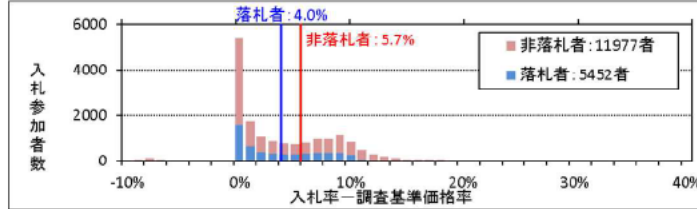
〔全タイプ〕

工事件数:7,584件  
 平均工事規模(予定価格):197百万円  
 平均入札参加者数:3.3者



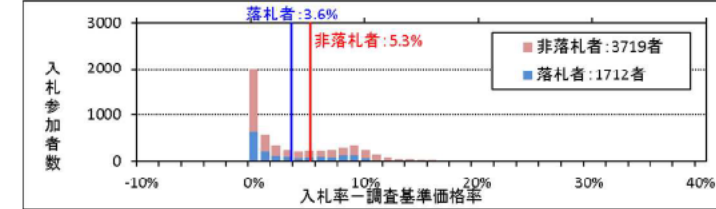
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数:5,452件  
 平均工事規模(予定価格):149百万円  
 平均入札参加者数:3.2者



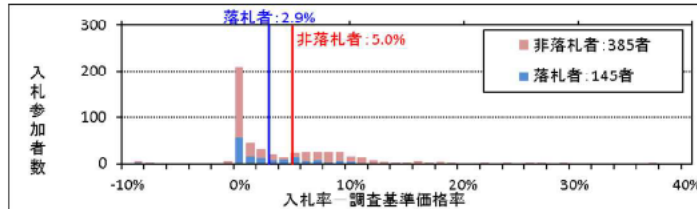
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

工事件数:1,712件  
 平均工事規模(予定価格):207百万円  
 平均入札参加者数:3.2者



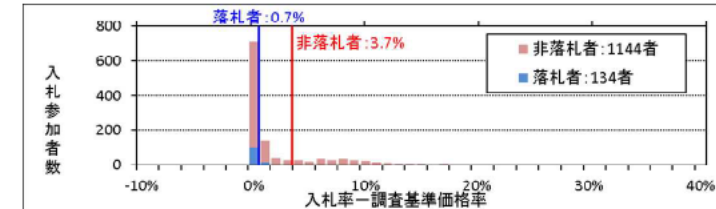
〔技術提案評価型(S型)〕

工事件数:145件  
 平均工事規模(予定価格):279百万円  
 平均入札参加者数:3.7者



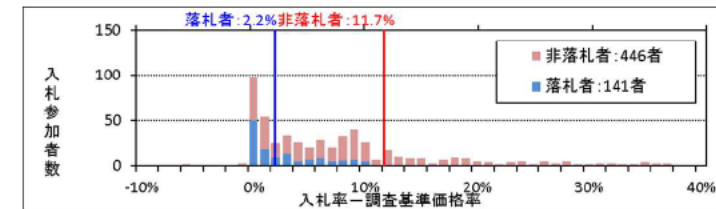
〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数:134件  
 平均工事規模(予定価格):1916百万円  
 平均入札参加者数:9.5者



〔価格競争〕

工事件数:141件  
 平均工事規模(予定価格):179百万円  
 平均入札参加者数:4.2者



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・調査基準価格が設定されていない工事

注2)入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

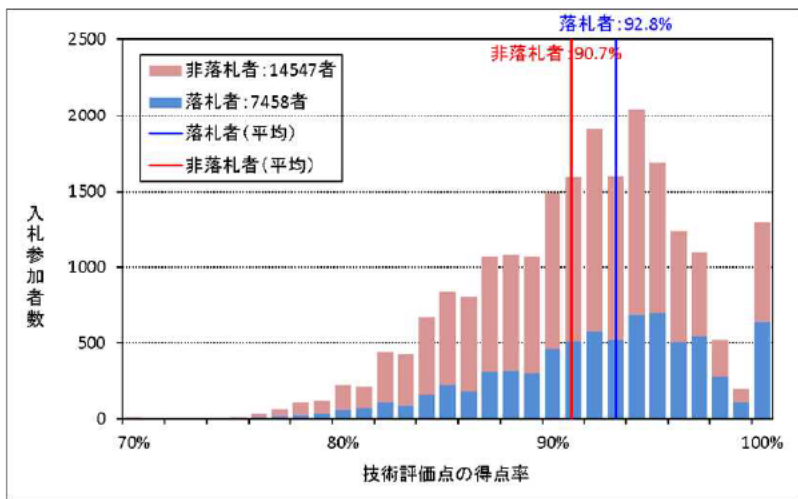
注3)平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 4. 技術評価の状況

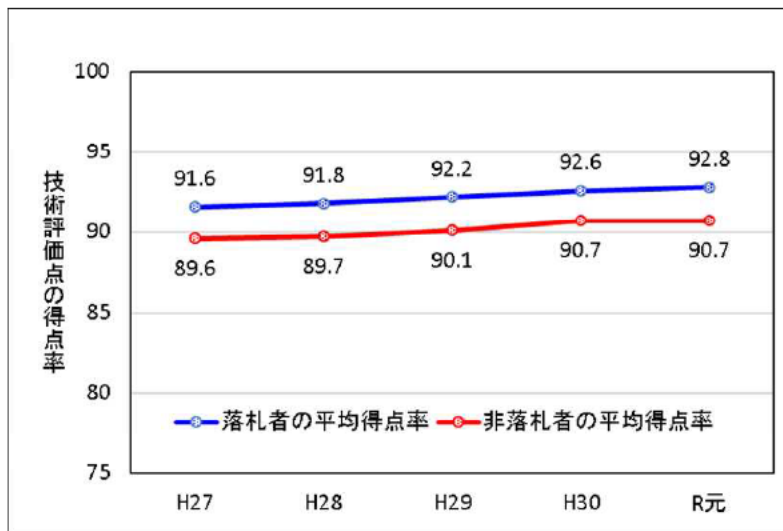
## (1) 入札参加者の技術評価点得点率分布〔経年の推移〕

■ 令和元年度の「技術評価点の得点率(技術評価点/技術評価点の満点)」は、落札者の平均92.8%、非落札者の平均90.7%となり、平成30年度とほぼ同水準である。

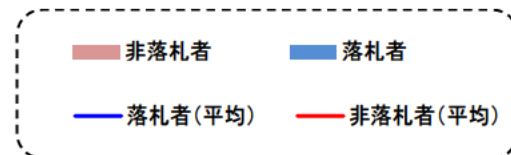
【令和元年度】



【平均得点率の経年変化】



〔凡例〕

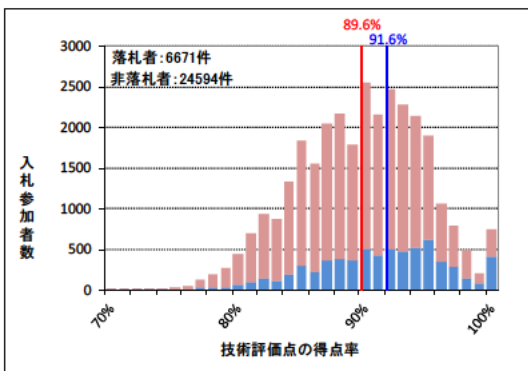


注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

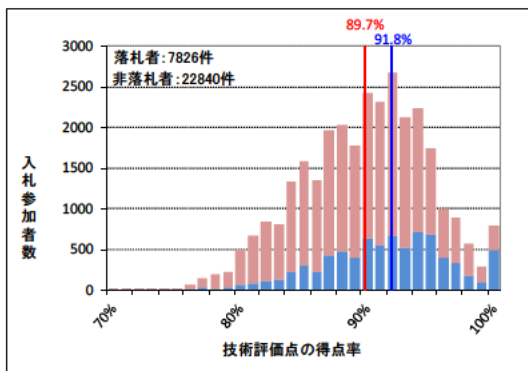
- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。

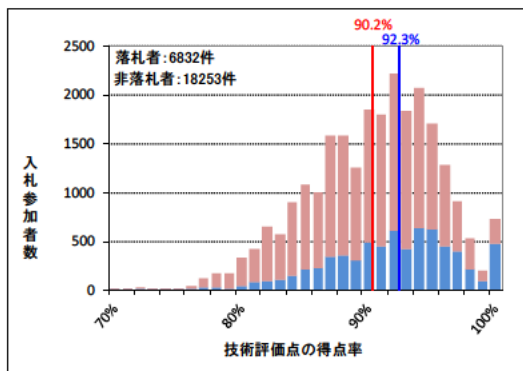
【平成27年度】



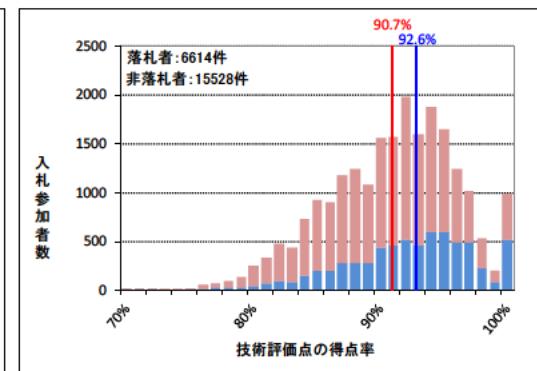
【平成28年度】



【平成29年度】



【平成30年度】



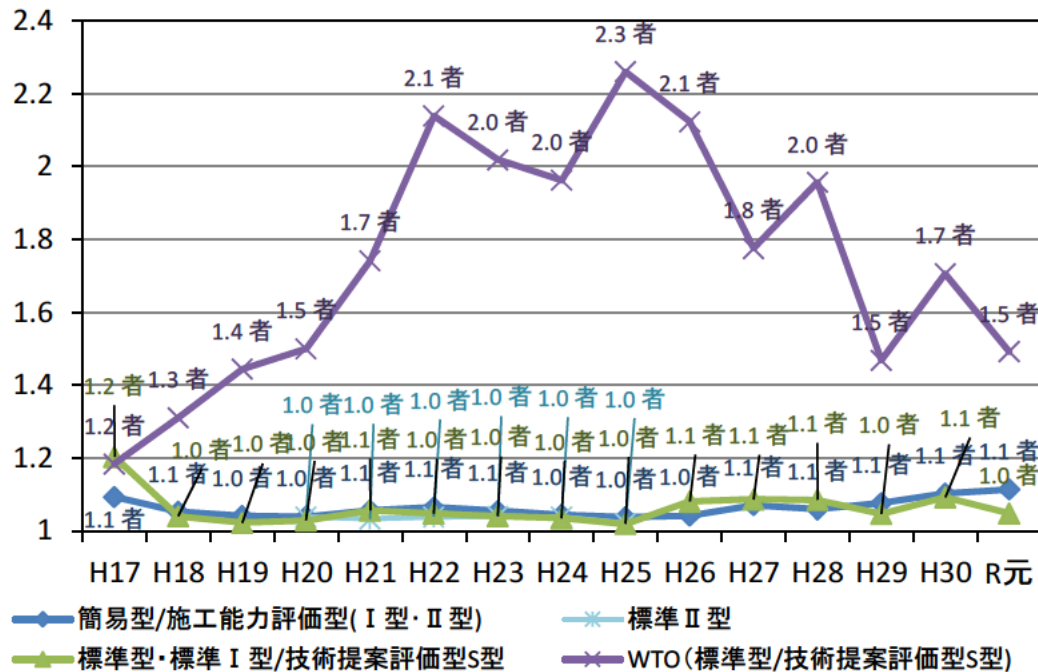


# 4. 技術評価の状況

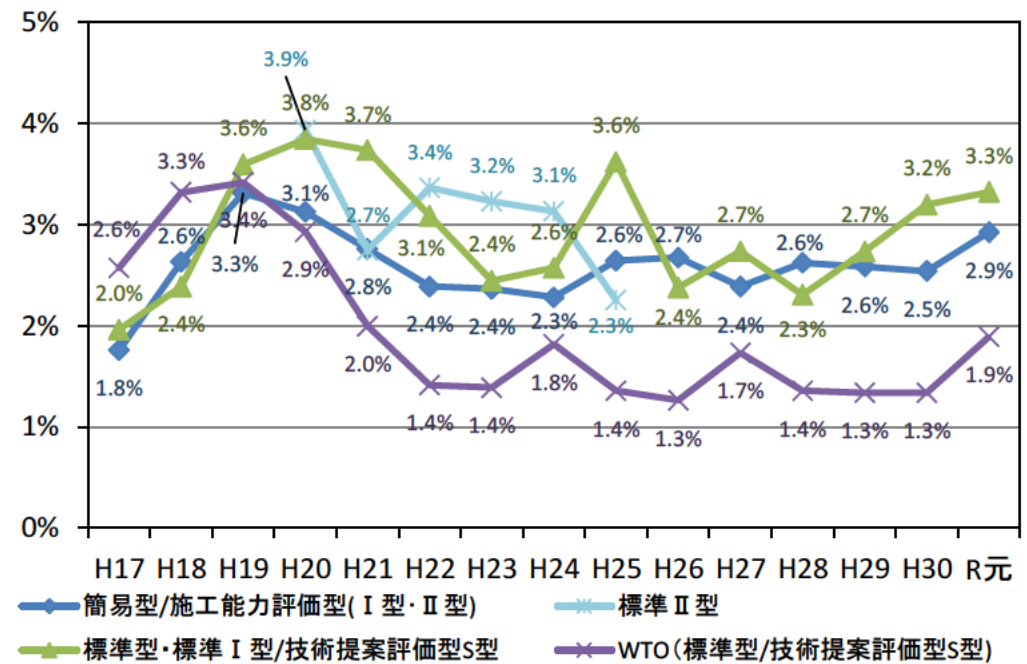
## (2) 技術評価点1位と2位の得点率の差・落札者と非落札者の得点率の差〔経年の推移〕

- 技術評価点1位同点者数は、技術提案評価型(S型)で1.0者、WTO技術提案評価型(S型)では1.5者と前年度より減少している。
- 技術評価点1位と2位の得点差は、技術提案評価型(S型)で平均3.3%、施工能力評価型で平均2.9%、WTO技術提案評価型(S型)は平均1.9%で、前年度よりも増加している。

【 技術評価点 1 位同点者数 】



【 技術評価点 1 位と 2 位の得点率の差 】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事 ・価格競争 ・高度技術提案型/技術提案評価型A型  
 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

注2) 技術評価点の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定

注3) 以下の工事は比較から除いている。  
 ・予定価格内1者の案件(「技術評価点1位と2位の得点率の差」の集計)

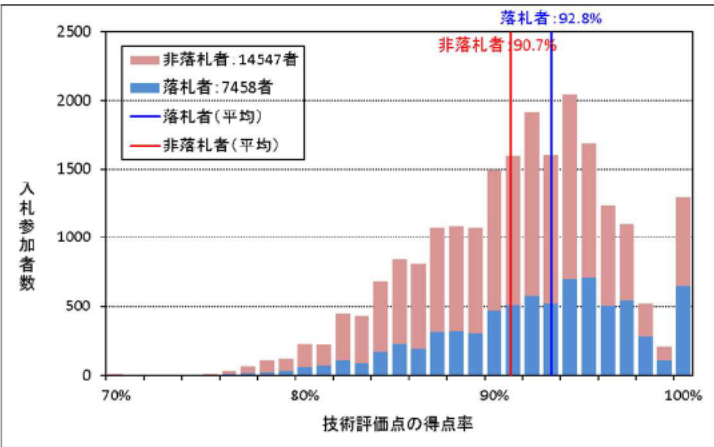
# 4. 技術評価の状況

## (3) 入札参加者の技術評価点得点率の分布〔令和元年度〕

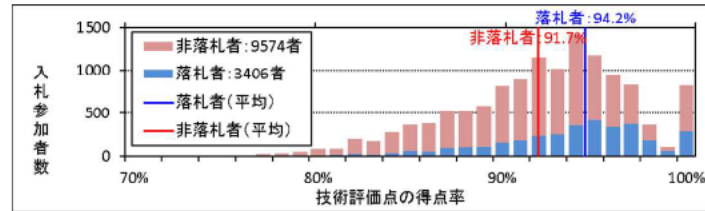
### ① 工事種別別

- 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCの「技術評価点の得点率」は、落札者の平均が他の工事種別よりも高くなっている。
- 維持修繕、機械設備、電気設備では、得点率が低い範囲にも落札者が分布している。

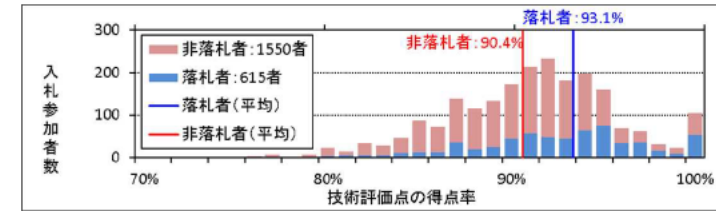
【全工事種別】  
工事件数:7,458件  
平均工事規模(予定価格):197百万円  
平均入札参加者数:3.3者



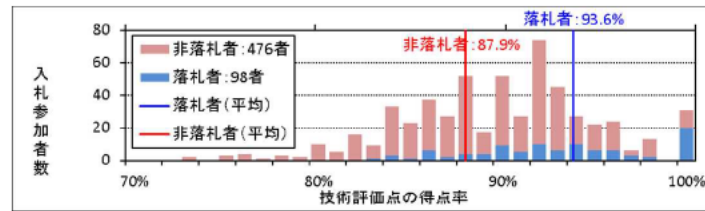
【一般土木】  
工事件数:3,406件  
平均工事規模(予定価格):241百万円  
平均入札参加者数:4.2者



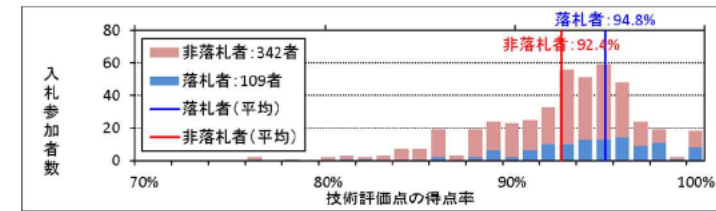
【AS舗装】  
工事件数:615件  
平均工事規模(予定価格):176百万円  
平均入札参加者数:3.8者



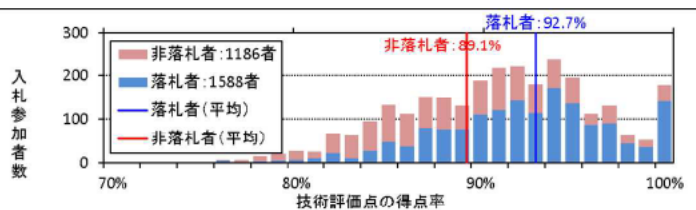
【鋼橋上部】  
工事件数:98件  
平均工事規模(予定価格):582百万円  
平均入札参加者数:6.4者



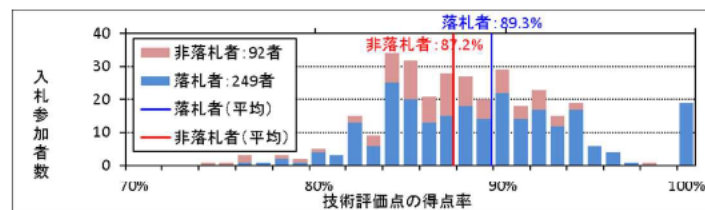
【PC】  
工事件数:109件  
平均工事規模(予定価格):442百万円  
平均入札参加者数:4.8者



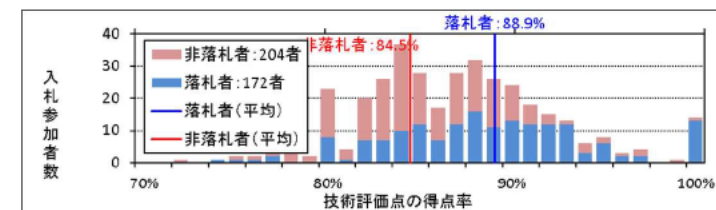
【維持修繕】  
工事件数:1,588件  
平均工事規模(予定価格):130百万円  
平均入札参加者数:1.9者



【機械設備】  
工事件数:249件  
平均工事規模(予定価格):140百万円  
平均入札参加者数:1.6者



【電気設備】  
工事件数:172件  
平均工事規模(予定価格):142百万円  
平均入札参加者数:3者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事・価格競争

注2) 入札参加者数は競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。ただし平均入札参加者数には予定価格超過者を含む。  
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

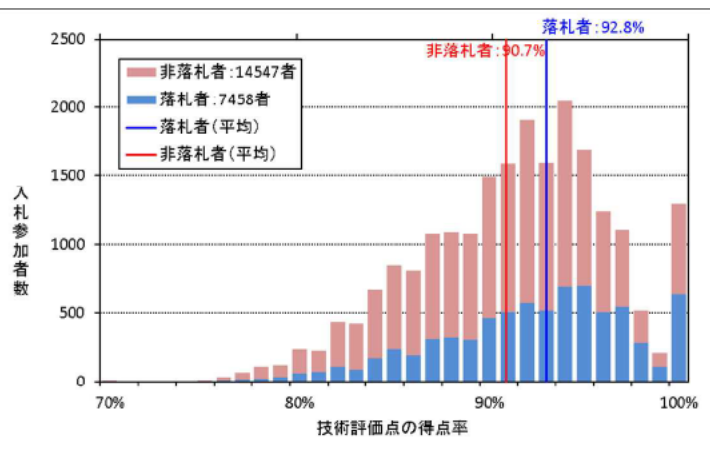
# 4. 技術評価の状況

## ②契約タイプ別

■ 「技術評価点の得点率」の平均は、施工能力評価型よりも技術提案評価型(S型)において落札者と非落札者の得点率の差が大きい。

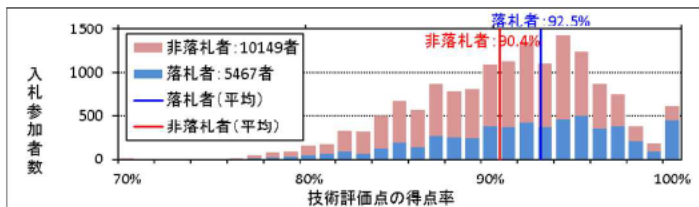
〔全タイプ〕

工事件数:7,458件  
平均工事規模(予定価格):197百万円  
平均入札参加者数:3.8者



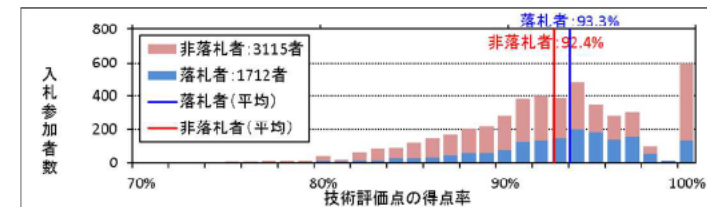
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数:5,467件  
平均工事規模(予定価格):149百万円  
平均入札参加者数:3.2者



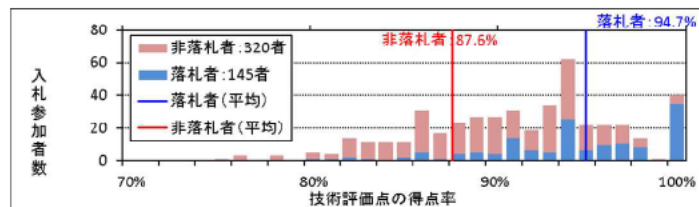
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

工事件数:1,712件  
平均工事規模(予定価格):207百万円  
平均入札参加者数:3.2者



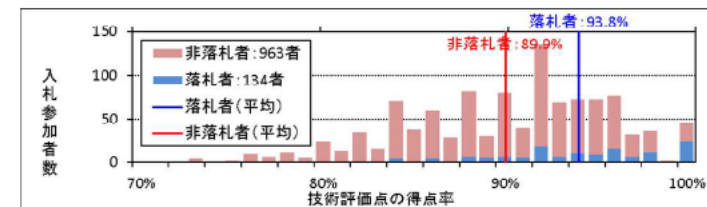
〔技術提案評価型(S型)〕

工事件数:145件  
平均工事規模(予定価格):280百万円  
平均入札参加者数:3.7者



〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数:134件  
平均工事規模(予定価格):1916百万円  
平均入札参加者数:9.5者



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事・価格競争

注2)入札参加者数は競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。ただし平均入札参加者数には予定価格超過者を含む。  
注3)平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

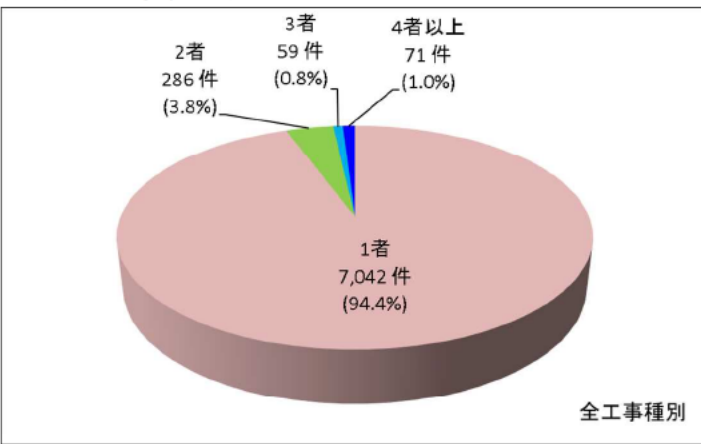
# 4. 技術評価の状況

## (4) 技術評価点1位同点者数〔令和元年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位同点者数」は、他の工事種別よりも2者以上の割合が多く、さらに鋼橋上部は、4者以上の割合も多い。

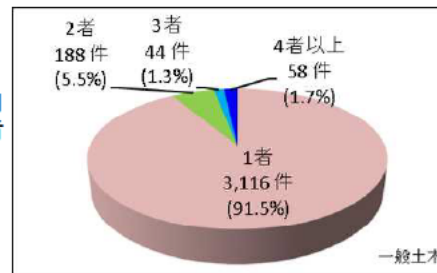
〔全工事種別〕



工事件数: 7,458件  
平均工事規模(予定価格): 197百万円  
平均入札参加者数: 3.3者

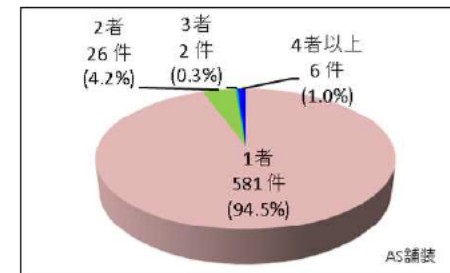
〔一般土木〕

工事件数: 3,406件  
平均工事規模  
(予定価格): 241百万円  
平均入札参加者数: 4.2者



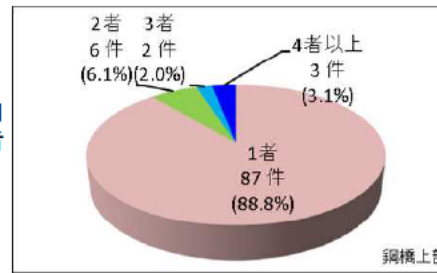
〔AS舗装〕

工事件数: 615件  
平均工事規模  
(予定価格): 176百万円  
平均入札参加者数: 3.8者



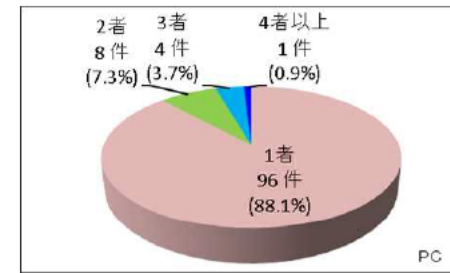
〔鋼橋上部〕

工事件数: 98件  
平均工事規模  
(予定価格): 582百万円  
平均入札参加者数: 6.4者



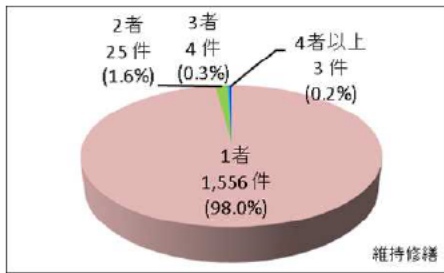
〔PC〕

工事件数: 109件  
平均工事規模  
(予定価格): 442百万円  
平均入札参加者数: 4.8者



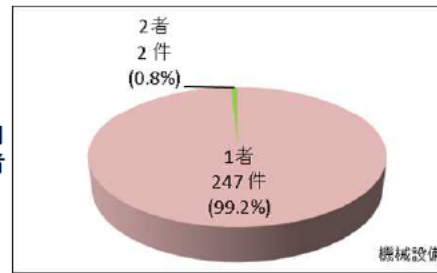
〔維持修繕〕

工事件数: 1,588件  
平均工事規模  
(予定価格): 130百万円  
平均入札参加者数: 1.9者



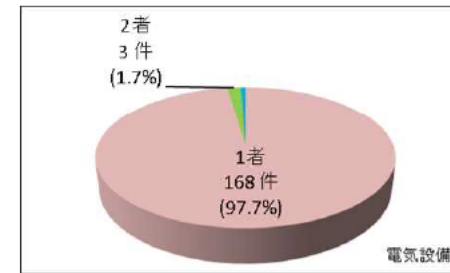
〔機械設備〕

工事件数: 249件  
平均工事規模  
(予定価格): 140百万円  
平均入札参加者数: 1.6者



〔電気設備〕

工事件数: 171件  
平均工事規模  
(予定価格): 142百万円  
平均入札参加者数: 3者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 技術評価点1位同点者数は、競争参加者から無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

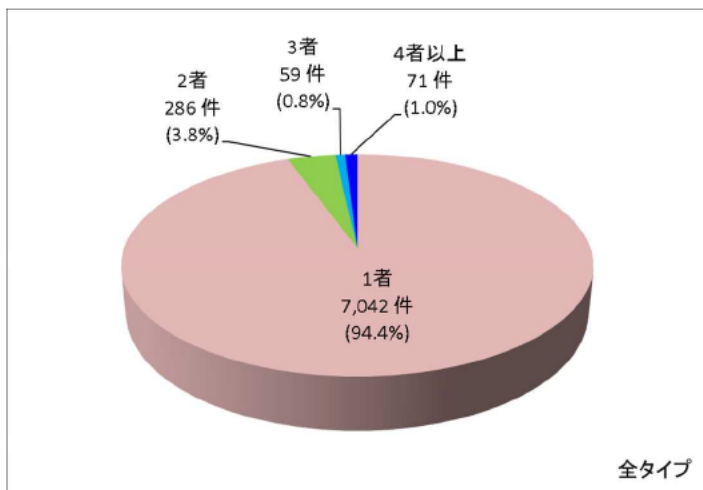
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 4. 技術評価の状況

## ②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位同点者数」は、他のタイプよりも2者以上の割合が多い。

〔全タイプ〕

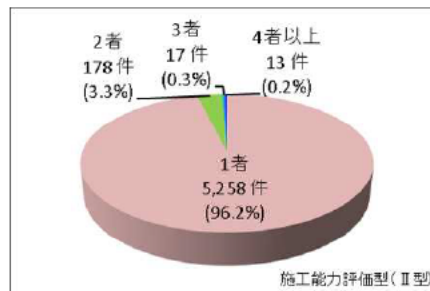


工事件数: 7,458件  
 平均工事規模(予定価格): 197百万円  
 平均入札参加者数: 3.3者

全タイプ

〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

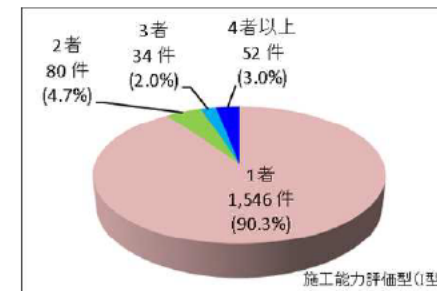
工事件数: 5,466件  
 平均工事規模  
 (予定価格): 149百万円  
 平均入札参加者数: 3.2者



施工能力評価型(Ⅱ型)

〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

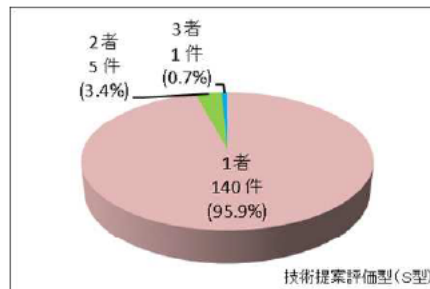
工事件数: 1,712件  
 平均工事規模  
 (予定価格): 207百万円  
 平均入札参加者数: 3.2者



施工能力評価型(Ⅰ型)

〔技術提案評価型(S型)〕

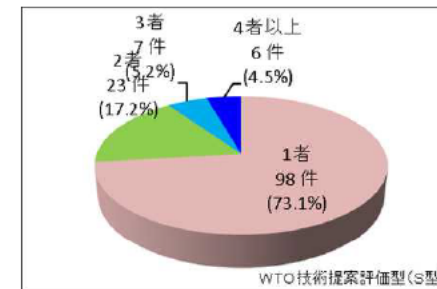
工事件数: 146件  
 平均工事規模  
 (予定価格): 280百万円  
 平均入札参加者数: 3.7者



技術提案評価型(S型)

〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 134件  
 平均工事規模  
 (予定価格): 1916百万円  
 平均入札参加者数: 9.5者



WTO技術提案評価型(S型)

注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 技術評価点1位同点者数は、競争参加者から無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

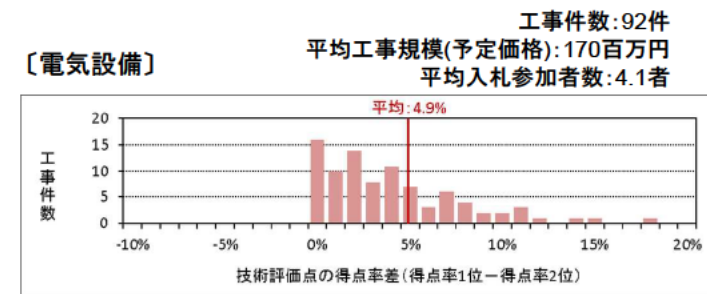
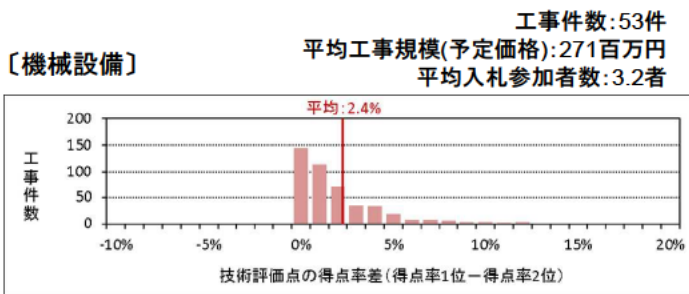
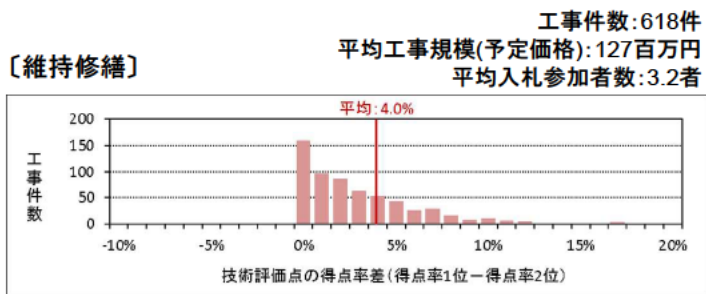
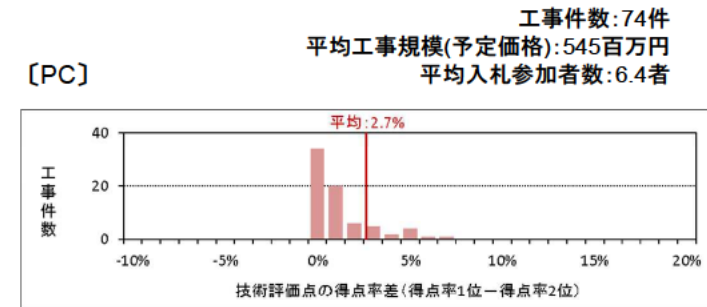
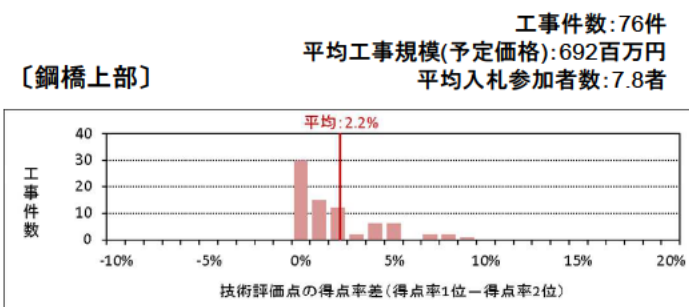
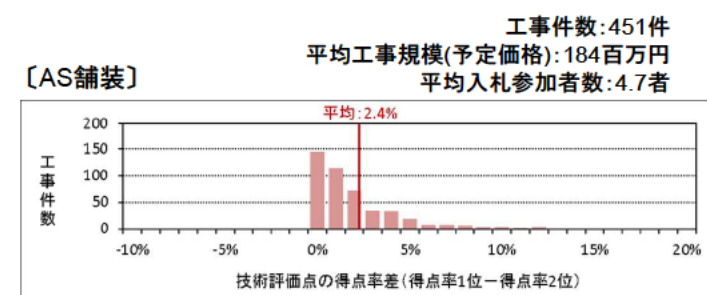
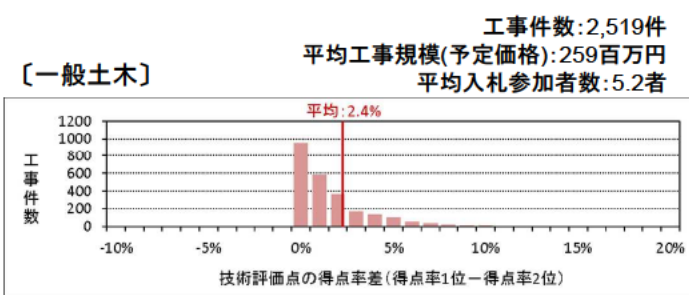
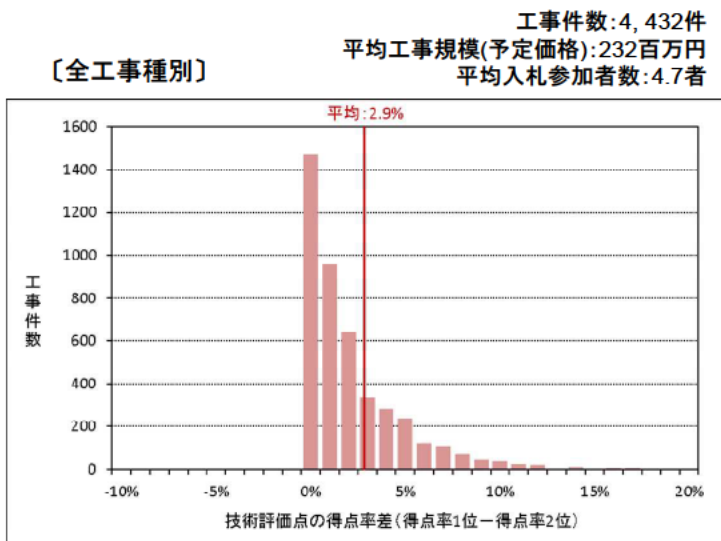
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 4. 技術評価の状況

## (5) 1位と2位の得点率の差の分布〔令和元年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PC、機械設備における「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他の工事種別と比べて小さい。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

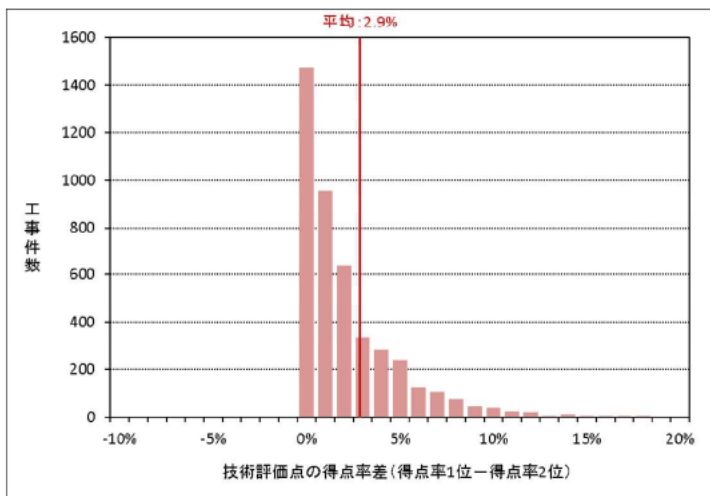
# 4. 技術評価の状況

## ② 契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他のタイプと比べて小さい。

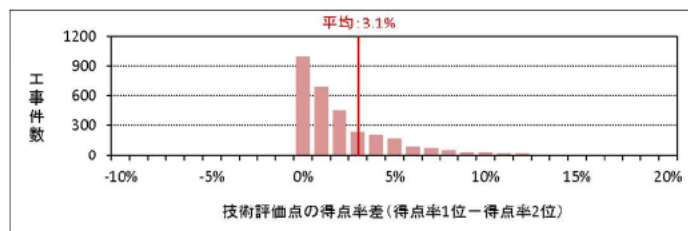
〔全タイプ〕

工事件数: 4,432件  
 平均工事規模(予定価格): 232百万円  
 平均入札参加者数: 4.7者



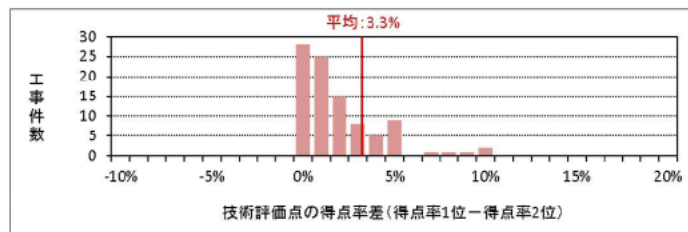
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数: 3,160件  
 平均工事規模(予定価格): 164百万円  
 平均入札参加者数: 4.6者



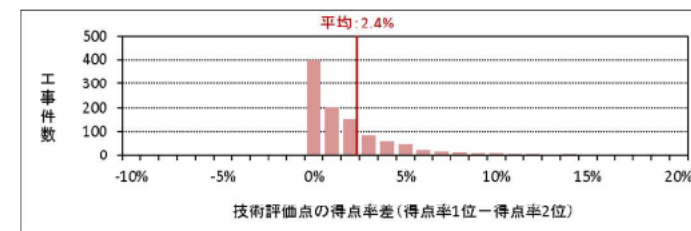
〔技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 96件  
 平均工事規模(予定価格): 336百万円  
 平均入札参加者数: 5者



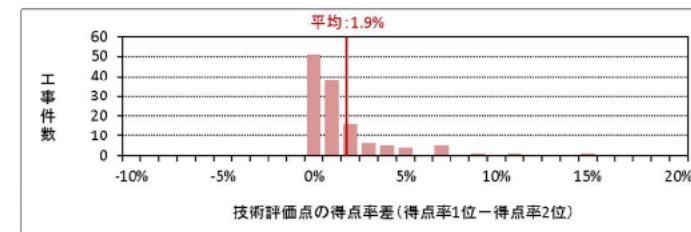
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

工事件数: 1048件  
 平均工事規模(予定価格): 220百万円  
 平均入札参加者数: 4.3者



〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 128件  
 平均工事規模(予定価格): 1951百万円  
 平均入札参加者数: 9.9者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

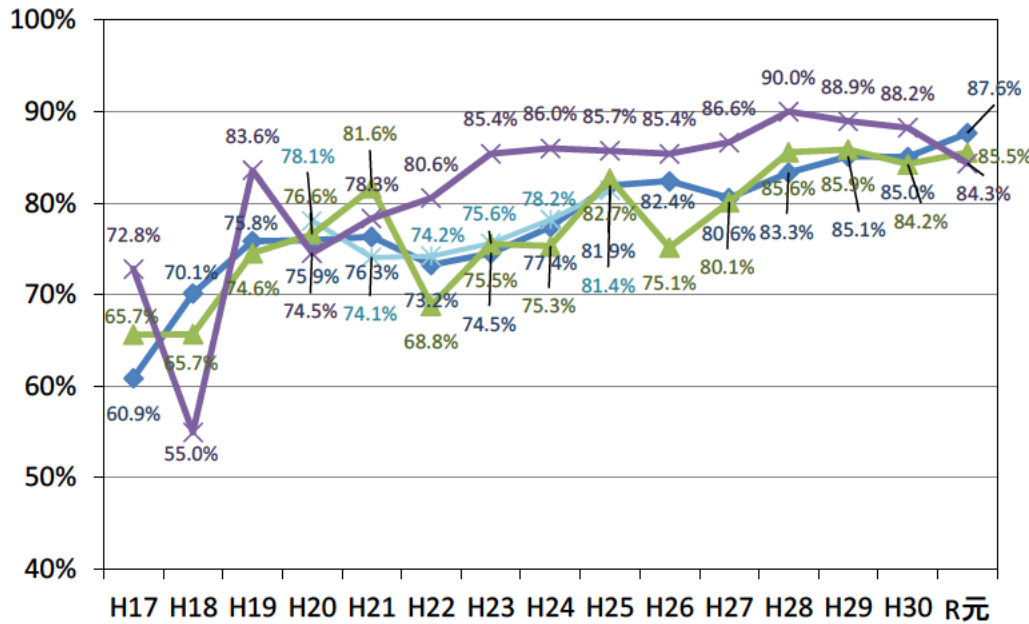
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

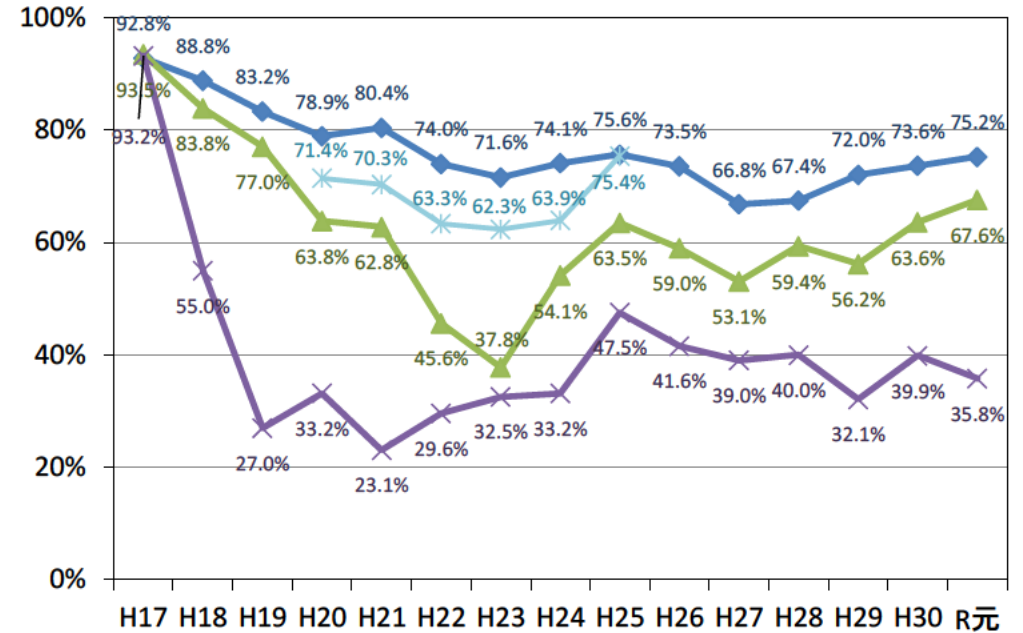
## (1) 落札者に占める技術評価点の最高得点者及び最低価格者の割合〔経年変化〕

- 落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合は、施工能力評価型で87.6%、技術提案評価型(S型)で85.5%と前年度より増加、WTO技術提案評価型(S型)は前年度よりも減少し84.3%となっている。
- 落札者に占める最低価格者の割合は、施工能力評価型で75.2%、技術提案評価型(S型)で67.6%と前年度より増加、WTO技術提案評価型(S型)は前年度よりも減少し35.8%となっている。

【落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合】



【落札者に占める最低価格者の割合】



◆ 簡易型/施工能力評価型(I型・II型)    ✦ 標準II型  
▲ 標準型・標準I型/技術提案評価型S型    ✕ WTO(標準型/技術提案評価型S型)

◆ 簡易型/施工能力評価型(I型・II型)    ✦ 標準II型  
▲ 標準型・標準I型/技術提案評価型S型    ✕ WTO(標準型/技術提案評価型S型)

注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象。  
 ・港湾・空港関係工事    ・価格競争    ・高度技術提案型/技術提案評価型A型    ・加算方式の試行工事(平成19年度)  
 注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。    - 21 -

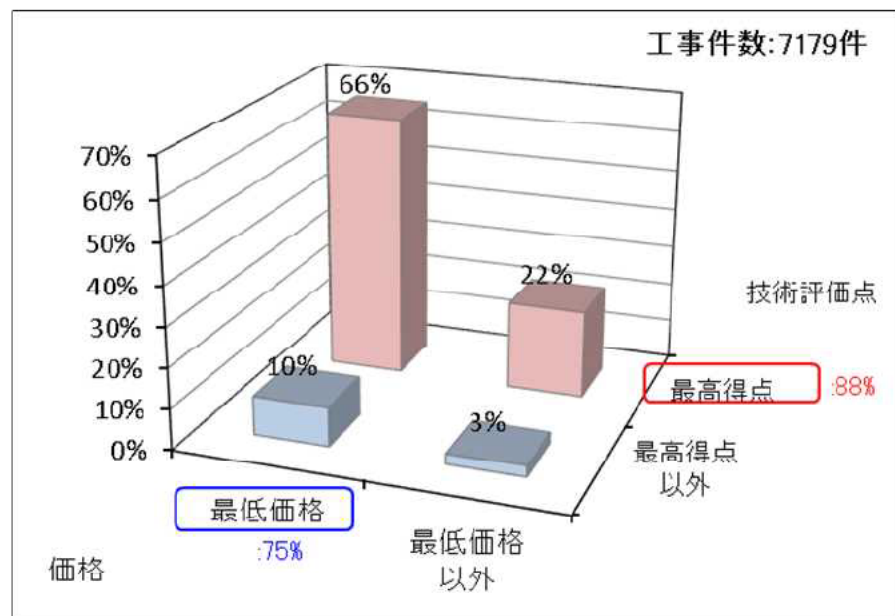


# 5. 総合評価の特徴

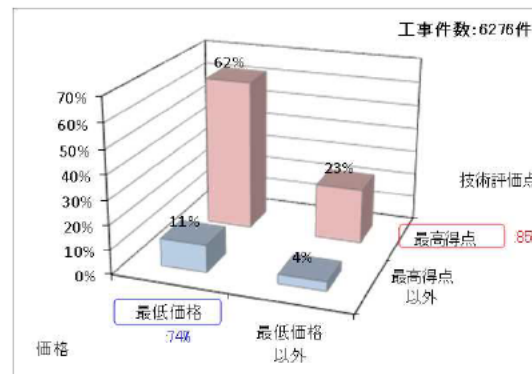
## (2) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合〔施工能力評価型〕〔経年変化〕

- 落札者に占める「技術評価点の最高得点者の割合」は、令和元年度は88%で平成30年度から3%上昇している。
- 落札者に占める「最低価格者の割合」は、平成30年度の74%から令和元年度は75%に上昇している。

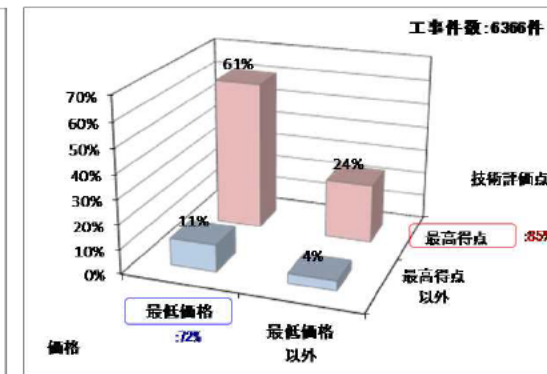
【令和元年度】



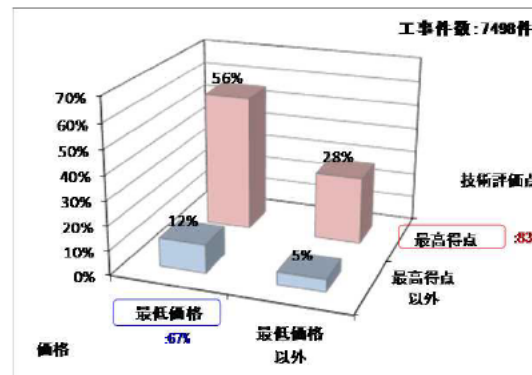
【平成30年度】



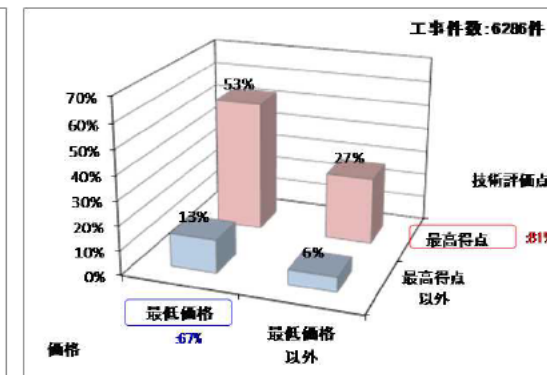
【平成29年度】



【平成28年度】



【平成27年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む

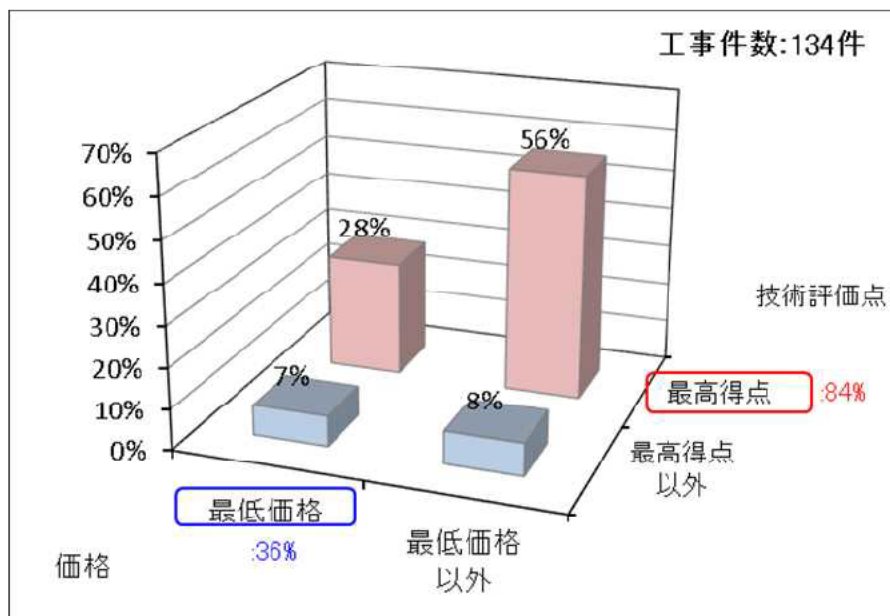
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 5. 総合評価の特徴

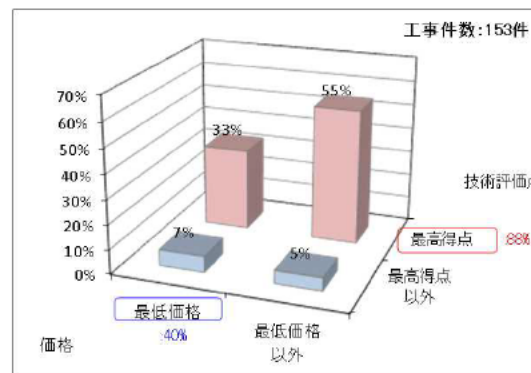
## (3) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合 [WTO技術提案評価型(S型)] [経年変化]

- WTO技術提案評価型(S型)の落札者に占める「技術評価点の最高得点者の割合」は、平成25年度以降85%~90%で推移していたが、令和元年度は84%であった。
- 落札者に占める「最低価格者の割合」は、令和元年度は36%となっている。

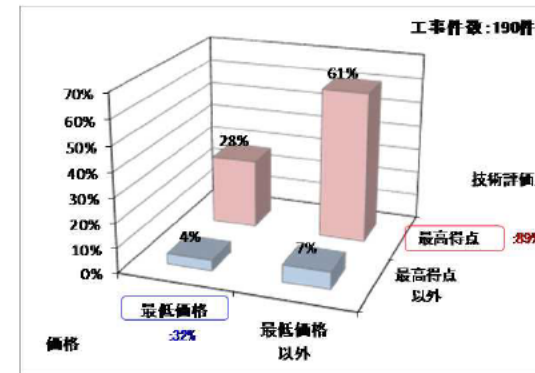
【令和元年度】



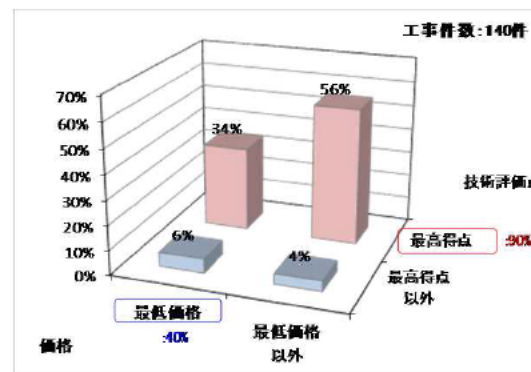
【平成30年度】



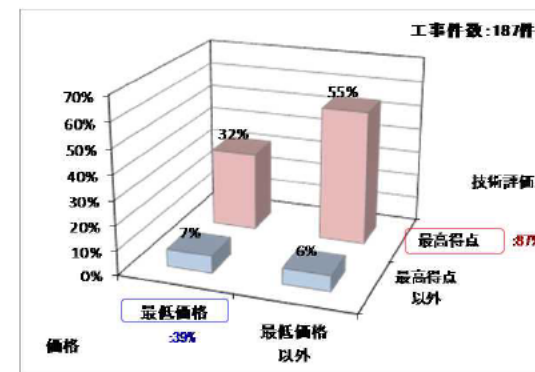
【平成29年度】



【平成28年度】



【平成27年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) WTO技術提案評価型(S型)には二極化前のWTO標準型も含む

注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

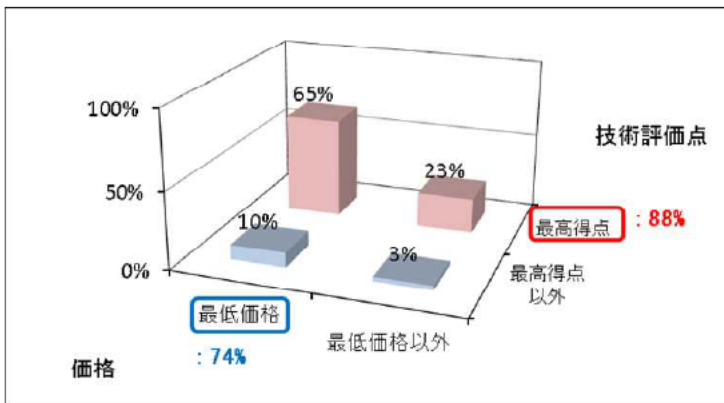
# 5. 総合評価の特徴

## (4) 落札者の内訳〔令和元年度〕

### ① 工事種別別

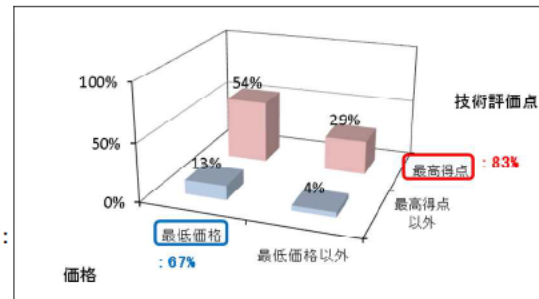
■ 一般土木、AS舗装、維持修繕、機械設備、電気設備、PCにおける「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の者が落札する割合が高く、鋼橋上部では最高得点かつ最低価格以外の者が落札する割合が高くなっている。

【全工事種別】  
工事件数: 7,458件  
平均工事規模(予定価格): 197百万円  
平均入札参加者数: 3.3者



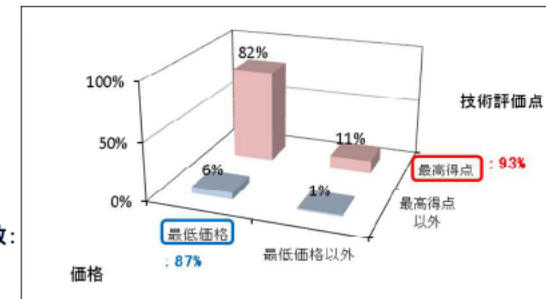
【一般土木】

工事件数: 3,406件  
平均工事規模(予定価格): 241百万円  
平均入札参加者数: 4.2者



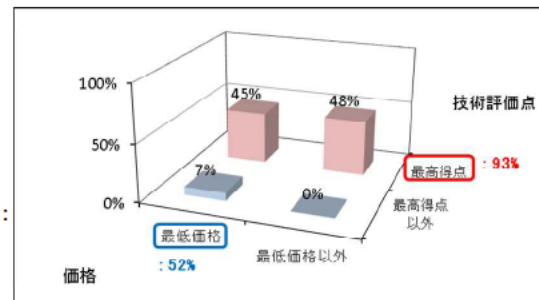
【AS舗装】

工事件数: 615件  
平均工事規模(予定価格): 176百万円  
平均入札参加者数: 3.8者



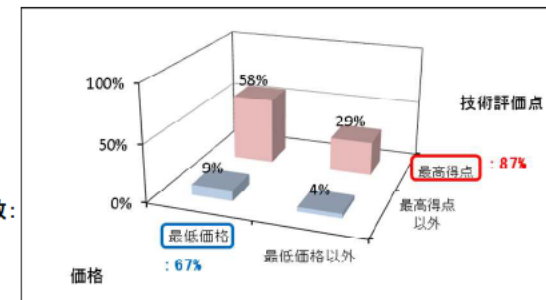
【鋼橋上部】

工事件数: 98件  
平均工事規模(予定価格): 582百万円  
平均入札参加者数: 6.4者



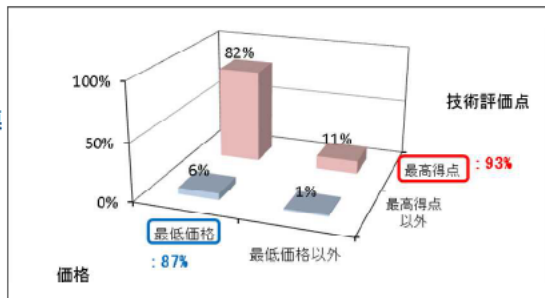
【PC】

工事件数: 109件  
平均工事規模(予定価格): 442百万円  
平均入札参加者数: 4.8者



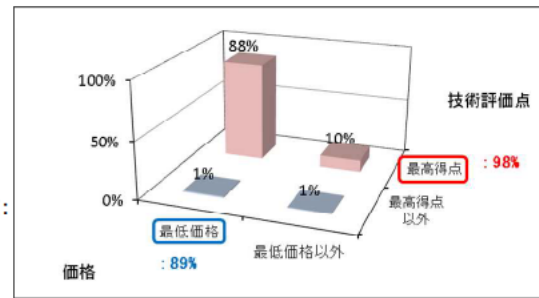
【維持修繕】

工事件数: 1,588件  
平均工事規模(予定価格): 130百万円  
平均入札参加者数: 1.9者



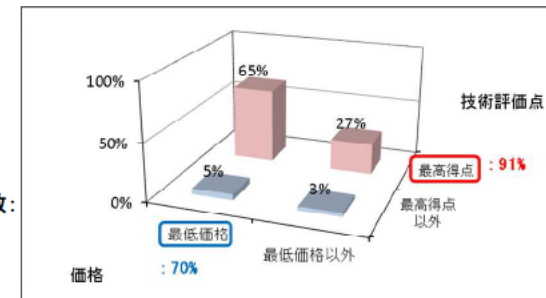
【機械設備】

工事件数: 249件  
平均工事規模(予定価格): 140百万円  
平均入札参加者数: 1.6者



【電気設備】

工事件数: 172件  
平均工事規模(予定価格): 142百万円  
平均入札参加者数: 3者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

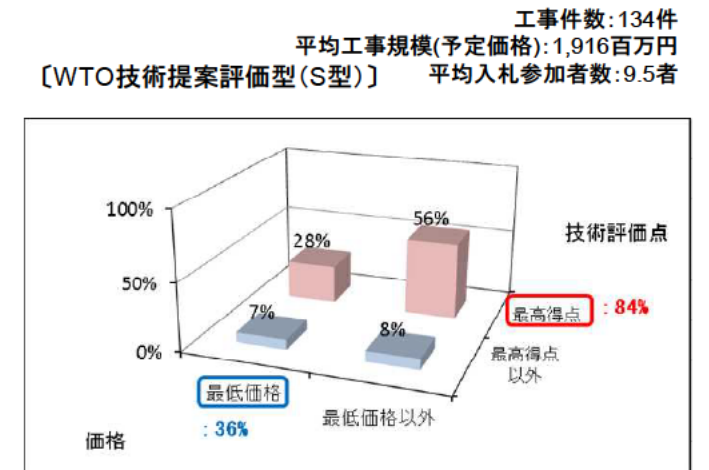
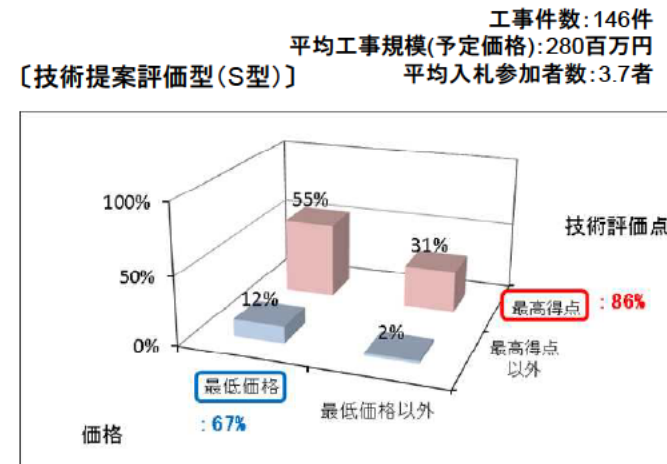
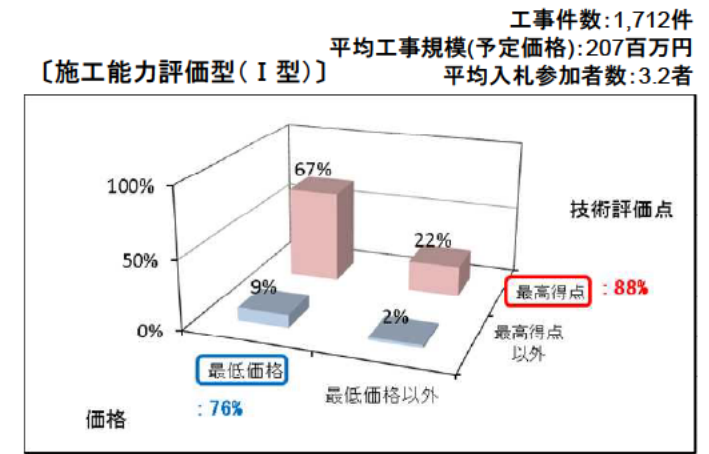
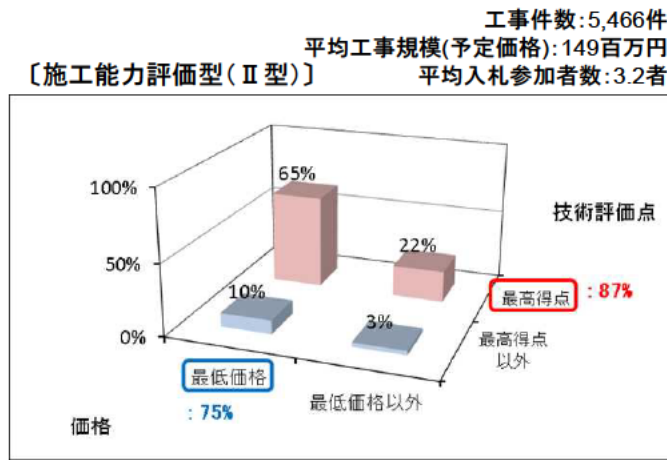
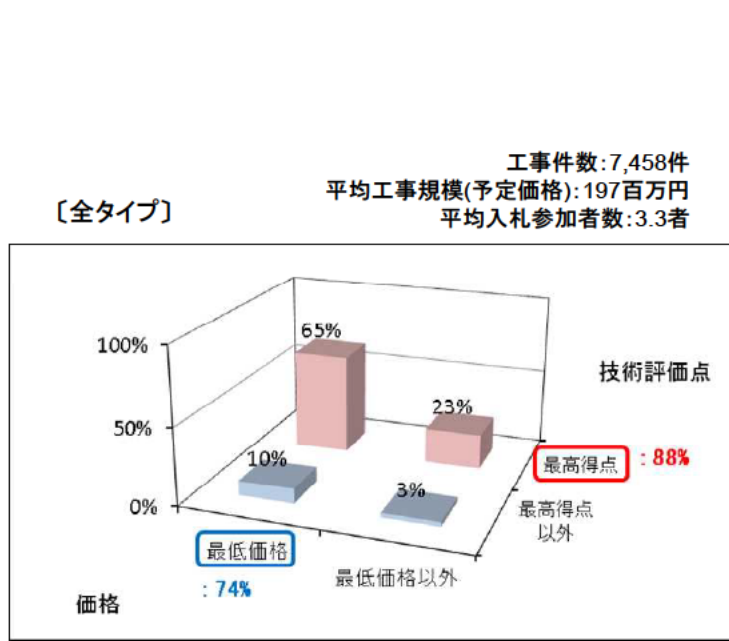
注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

## ②契約タイプ別

■ 施工能力評価型、技術提案評価型(S型)における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の者が落札する割合が高く、WTO技術提案評価型(S型)では最低価格以外の者の落札が多い。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

・港湾・空港関係工事 ・価格競争

注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

## (5) 落札者の技術評価点と落札価格の状況〔経年変化〕

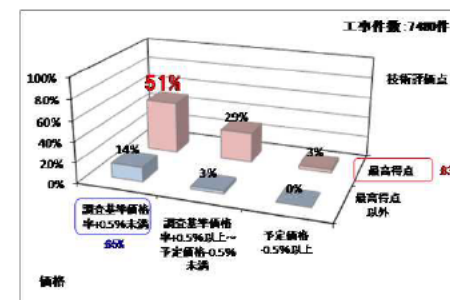
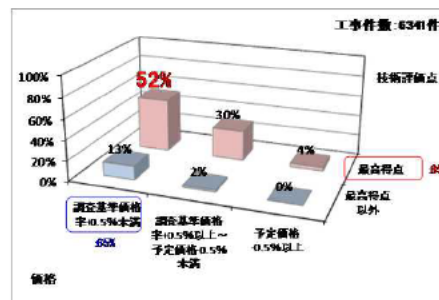
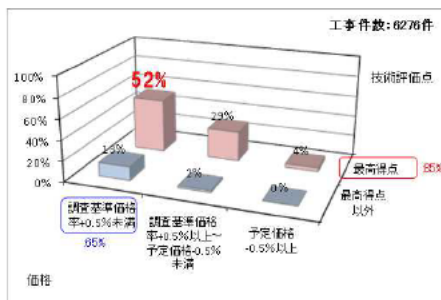
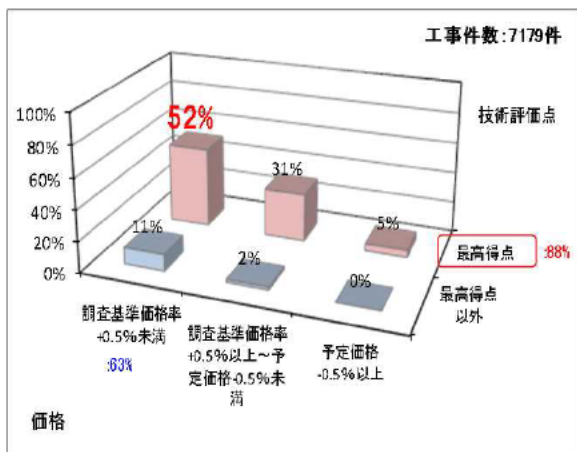
■ 技術評価点の最高得点者が調査基準価格付近（落札率が調査基準価格率+0.5%未満）の価格で落札する割合は、WTO技術提案評価型（S型）で81%となっている。

【令和元年度】

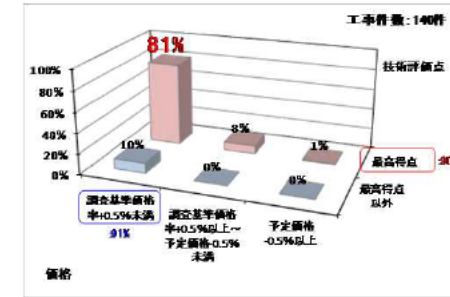
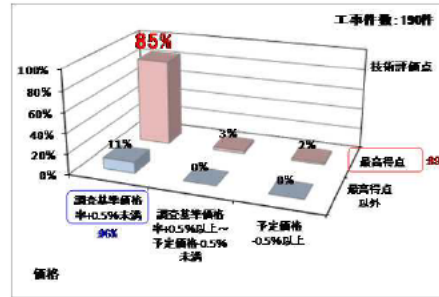
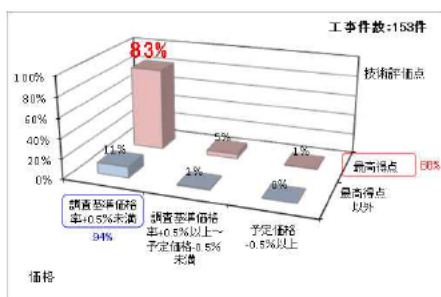
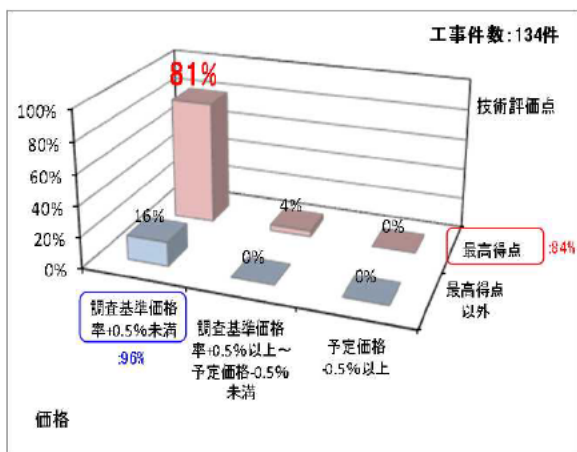
【平成30年度】

【平成29年度】

【平成28年度】



【施工能力評価型】



【WTO技術提案評価型(S型)】

注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
・港湾・空港関係工事  
・価格競争

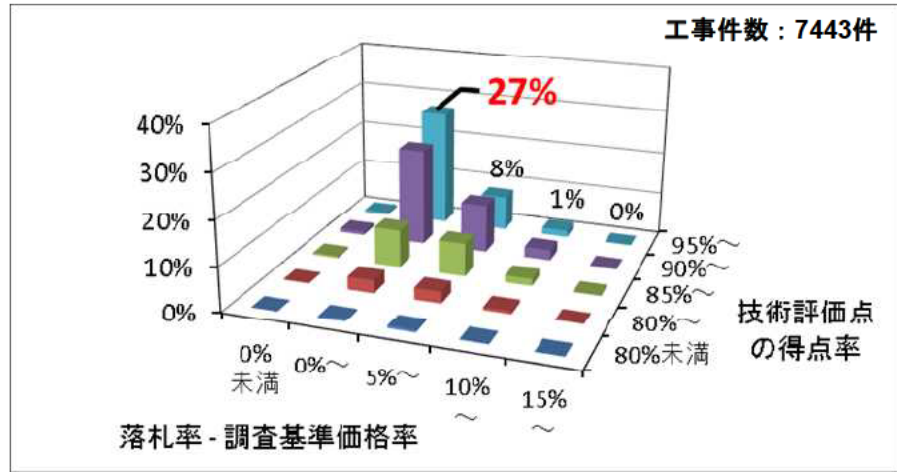
注2) 施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む  
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 5. 総合評価の特徴

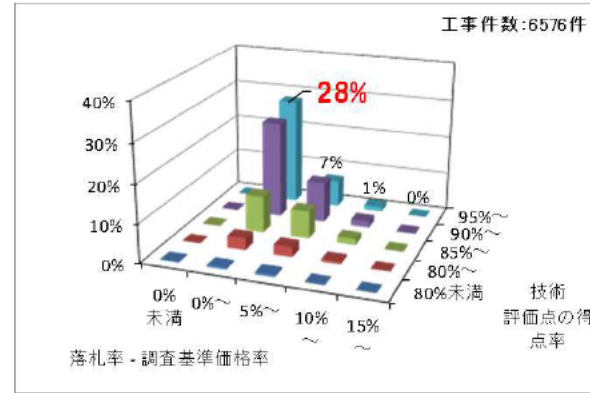
## (6) 落札者の「落札率－調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔経年変化〕

■ 「技術評価点の得点率」が95%以上で「落札率－調査基準価格率」が0%以上5%未満の落札者は、平成30年度の28%から令和元年度は27%となっている。

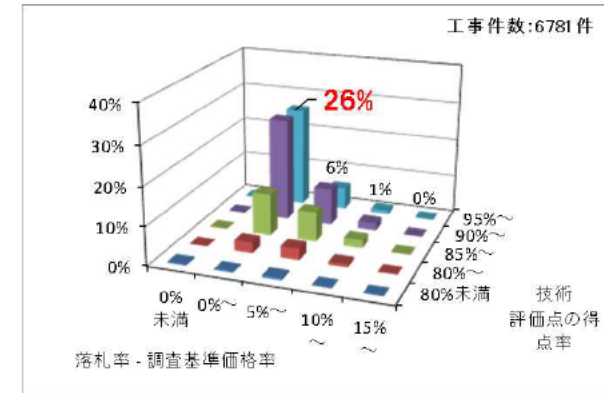
【令和元年度】



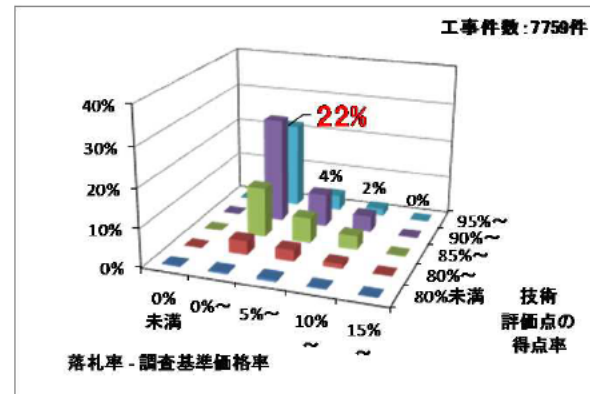
【平成30年度】



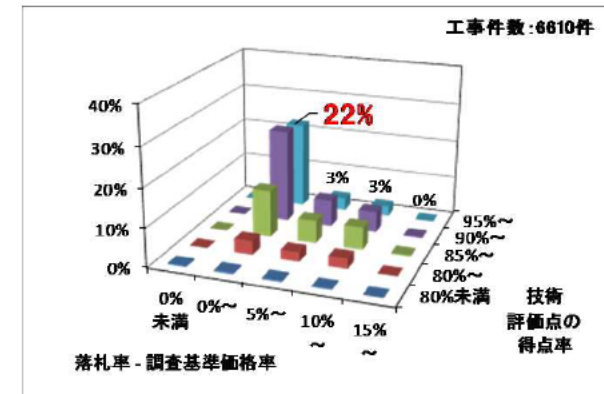
【平成29年度】



【平成28年度】



【平成27年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

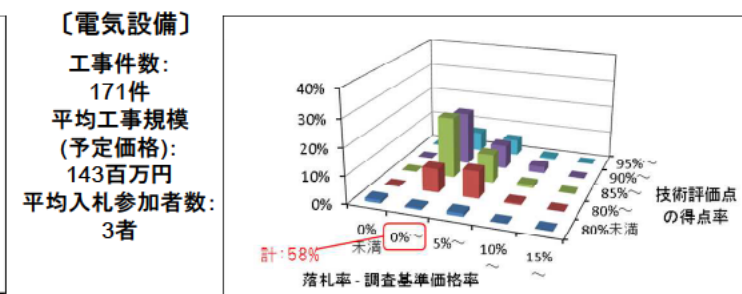
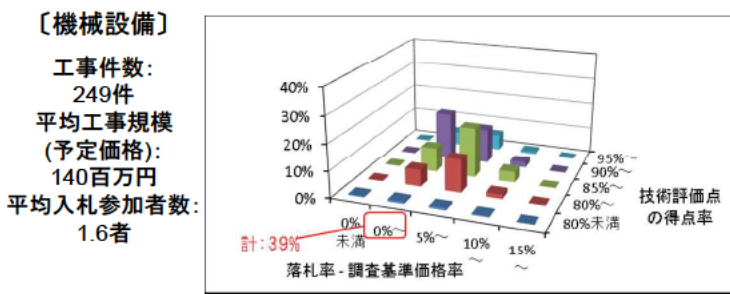
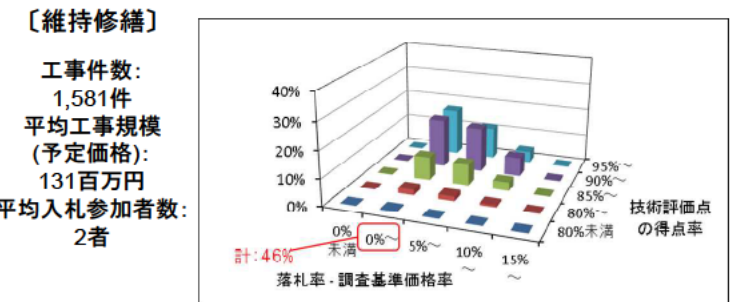
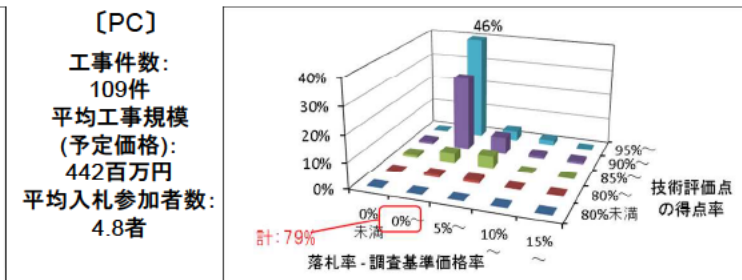
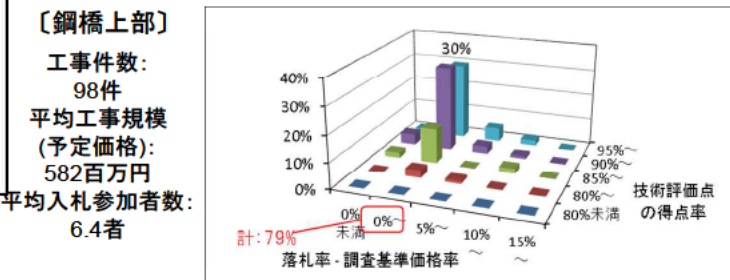
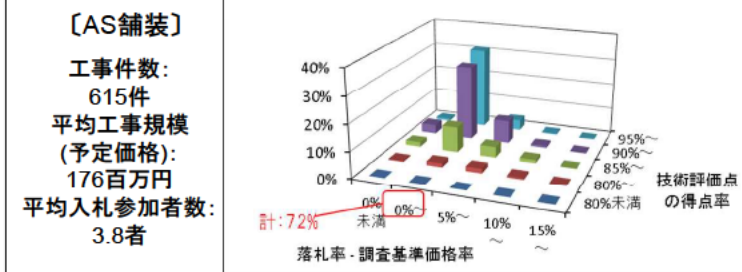
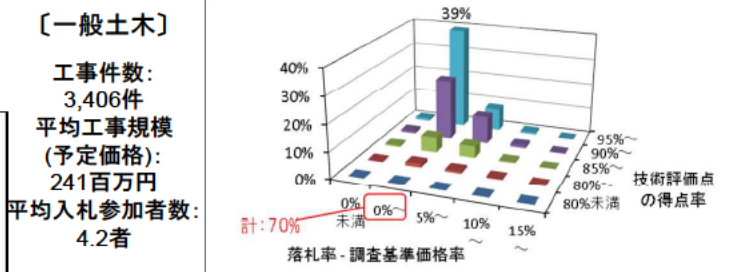
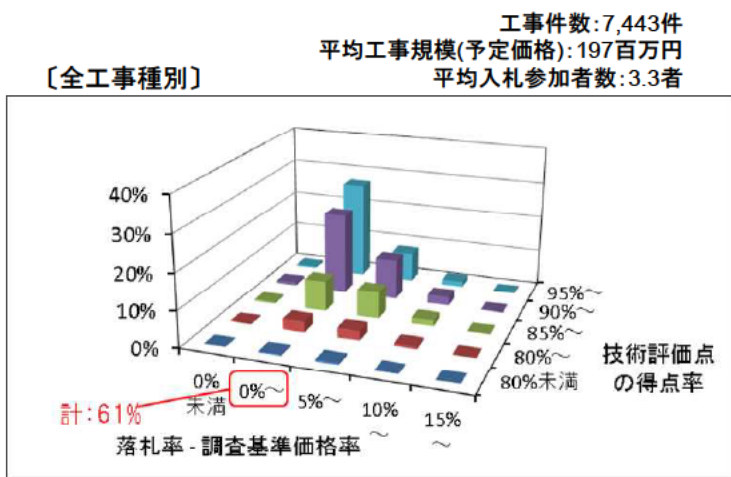
- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・調査基準価格が設定されていない工事

# 5. 総合評価の特徴

## (7) 落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔令和元年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満の落札者が多く、鋼橋上部は79%、PCは79%となっている。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・調査基準価格が設定されていない工事

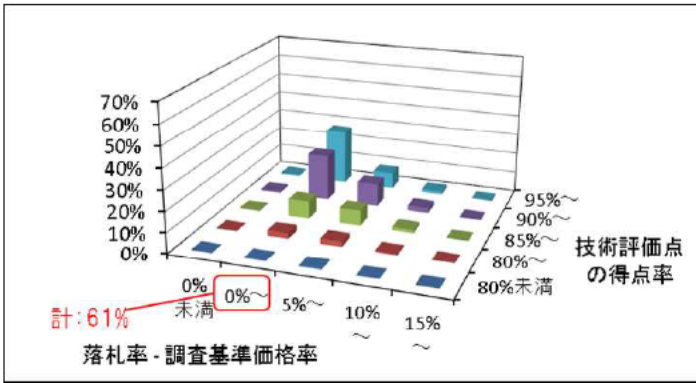
注2) 平均入札参加者数は、  
 ・競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
 ・予定価格超過者は含む。  
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

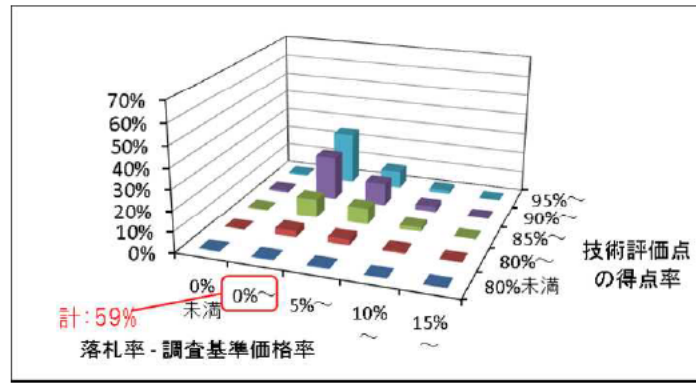
## ②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)は、落札者の95%が「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満であり、「技術評価点の得点率」が95%以上の落札者が多くっている。

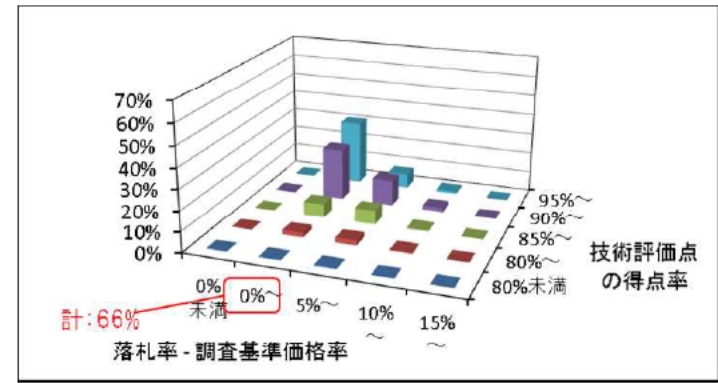
工事件数:7,443件  
 平均工事規模(予定価格):197百万円  
 平均入札参加者数:3.3者  
 [全タイプ]



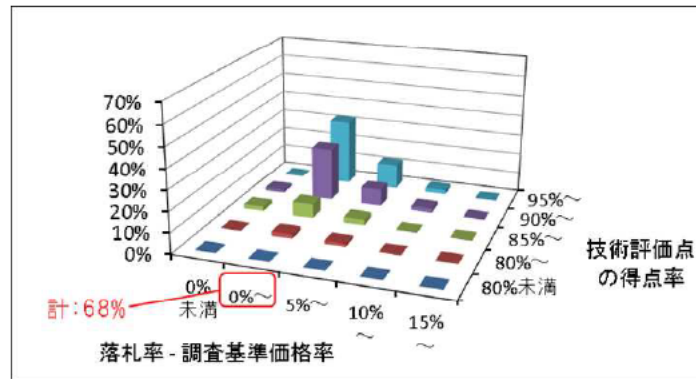
工事件数:5,452件  
 平均工事規模(予定価格):149百万円  
 平均入札参加者数:3.2者  
 [施工能力評価型(Ⅱ型)]



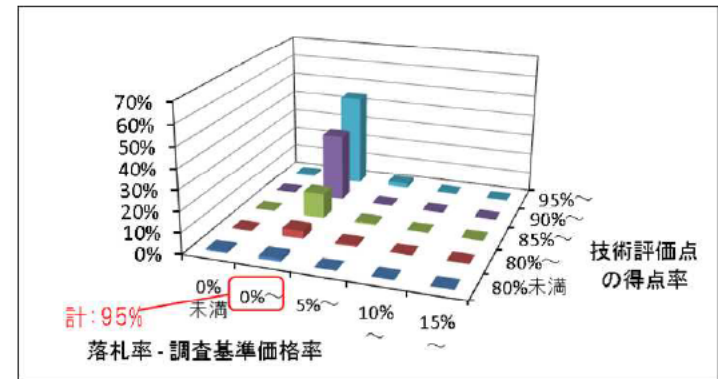
工事件数:1,712件  
 平均工事規模(予定価格):207百万円  
 平均入札参加者数:3.2者  
 [施工能力評価型(Ⅰ型)]



工事件数:145件  
 平均工事規模(予定価格):279百万円  
 平均入札参加者数:3.7者  
 [技術提案評価型(S型)]



工事件数:134件  
 平均工事規模(予定価格):1916百万円  
 平均入札参加者数:9.5者  
 [WTO技術提案評価型(S型)]



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・調査基準価格が設定されていない工事

注2)平均入札参加者数は、

- ・競争参加者数から無効・辞退等を除く。
- ・予定価格超過者は含む。

注3)平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

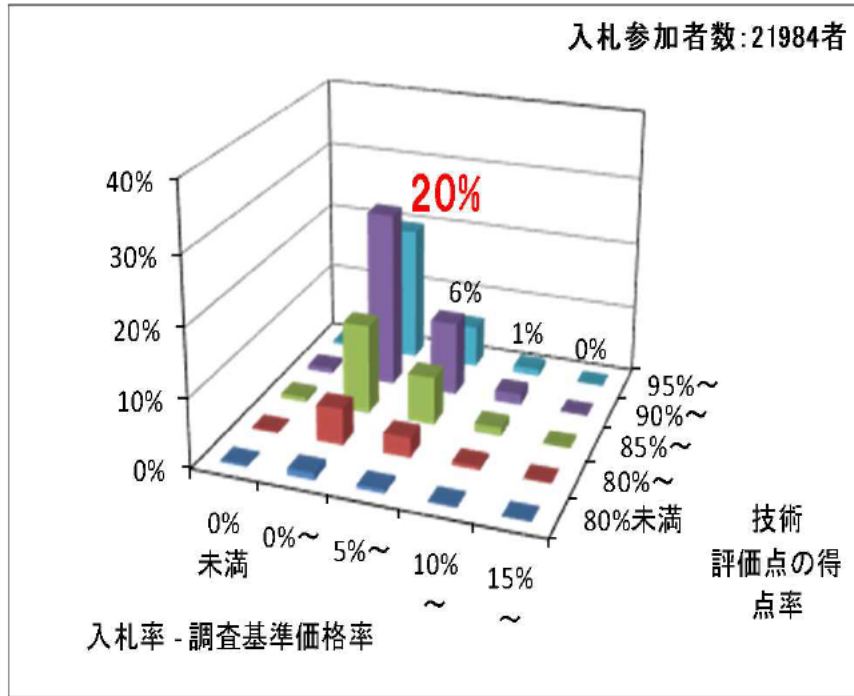


# 5. 総合評価の特徴

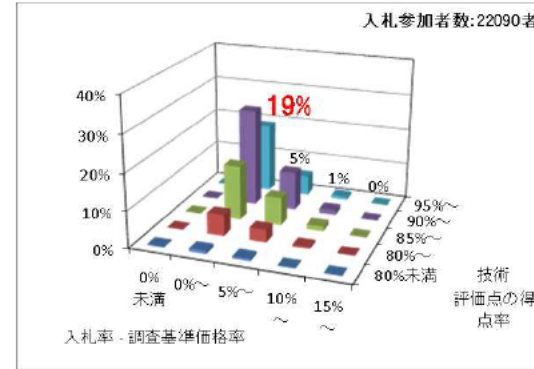
## (8) 入札参加者の「入札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔経年変化〕

■ 入札参加者の「技術評価点の得点率」が95%以上で「入札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満の入札は、平成30年度の19%から令和元年度は20%に増加している。

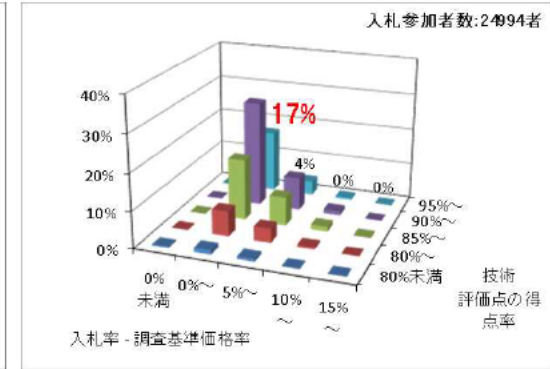
【令和元年度】



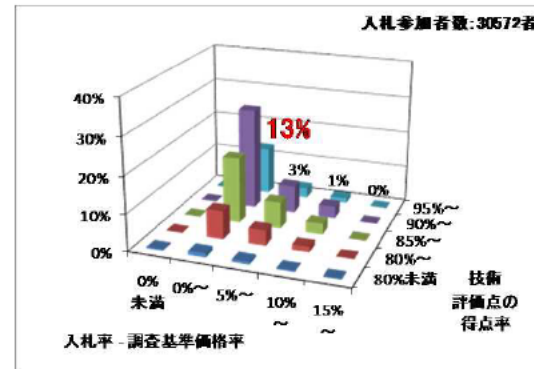
【平成30年度】



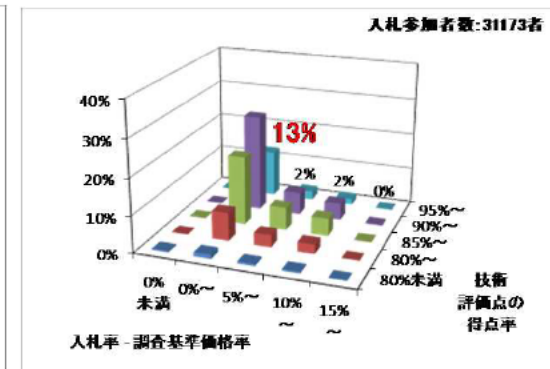
【平成29年度】



【平成28年度】



【平成27年度】



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

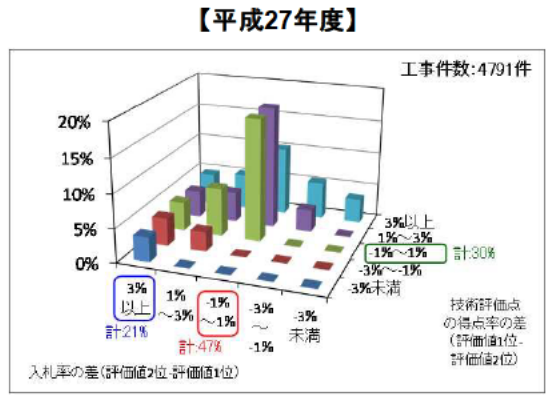
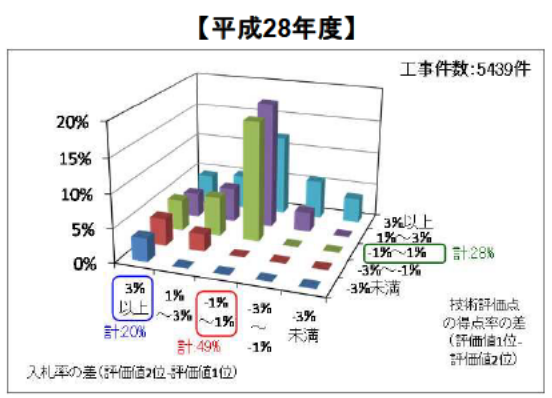
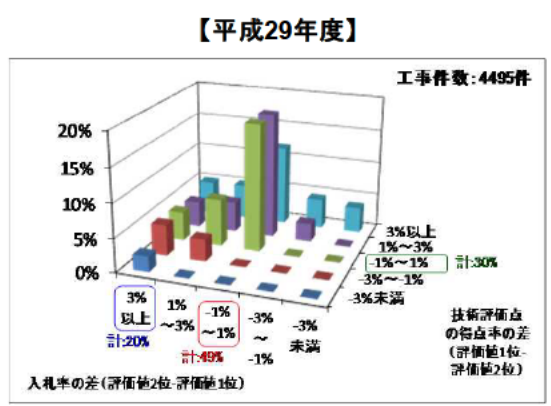
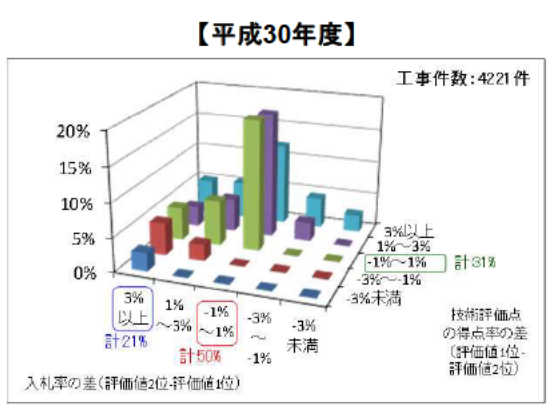
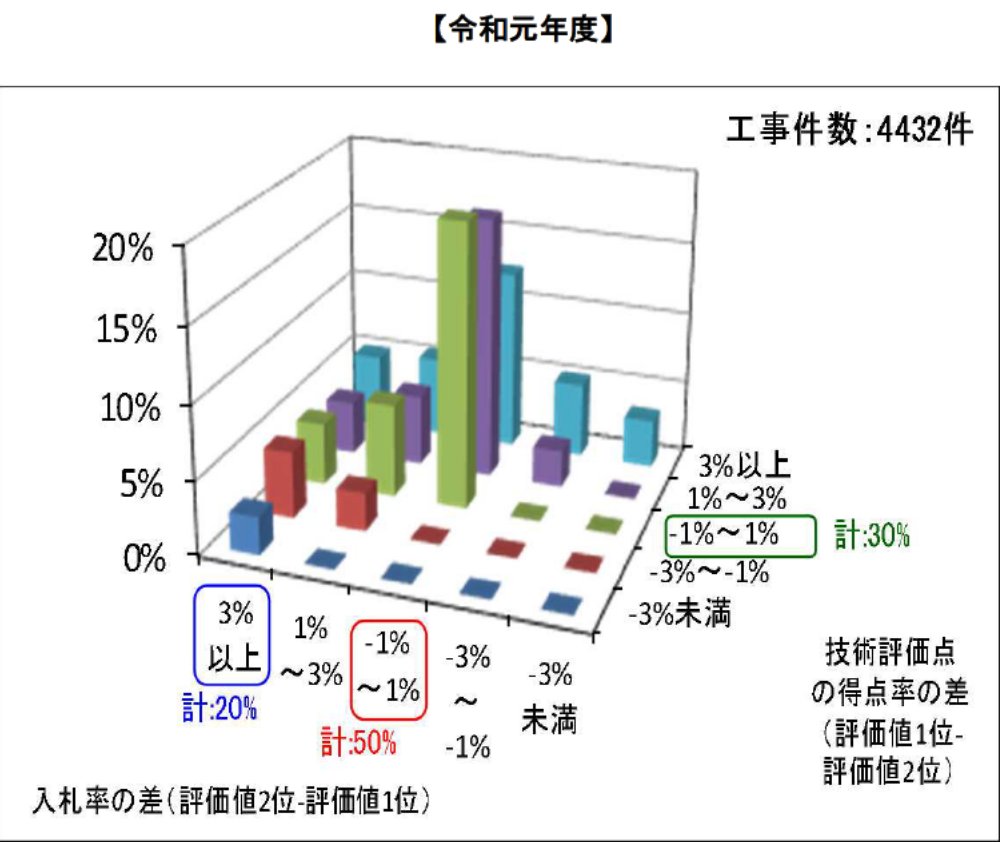
- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・調査基準価格が設定されていない工事

注2)入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。

# 5. 総合評価の特徴

## (9) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差〔経年変化〕

- 「落札者と次点者の技術評価点の得点率の差」が±1%の割合は、平成30年度の31%から令和元年度は30%と1%減少している。
- 「落札者と次点者の入札率の差」が±1%の割合は、平成30年度、令和元年度ともに50%となっている。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・予定価格内1者の案件

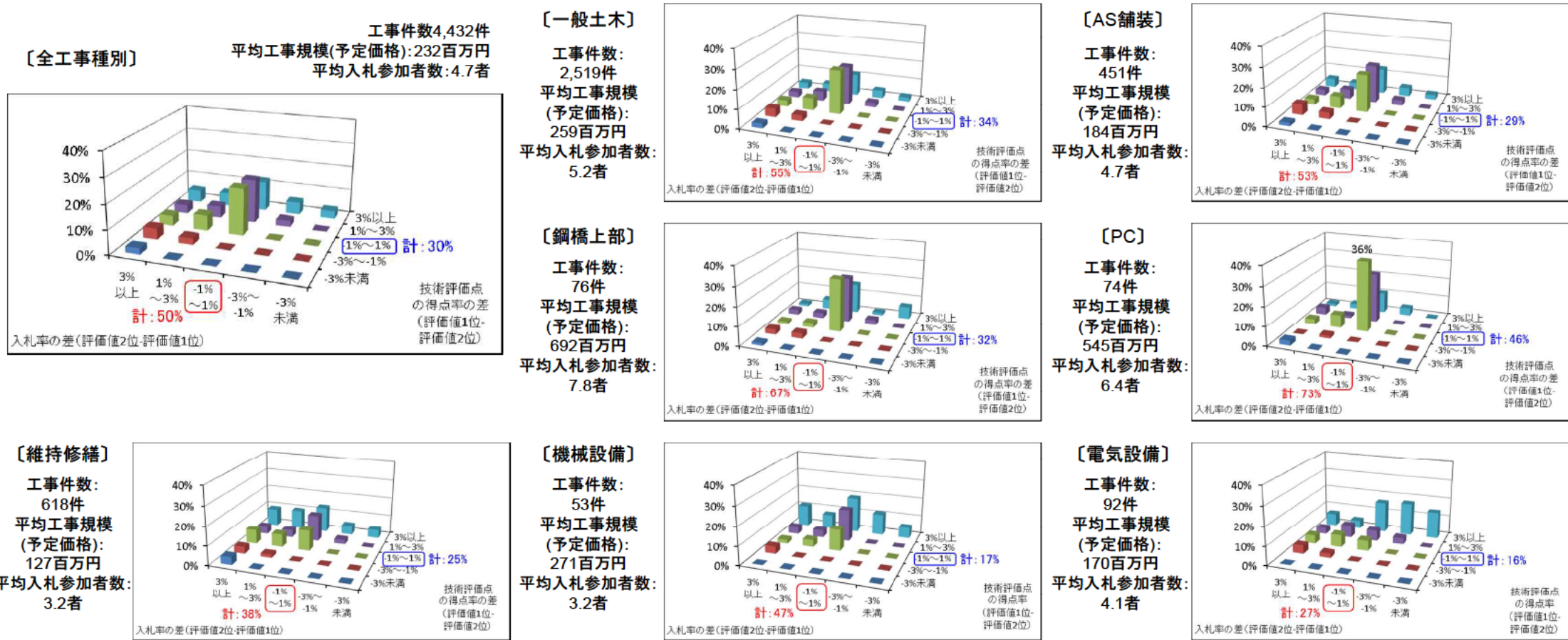
注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定

# 5. 総合評価の特徴

## (10) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差〔令和元年度〕

### ① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PC は、「技術評価点の得点率の差」、「入札率の差」ともに±1%の落札者が他の工事種別よりも多くなっている。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象  
 ・港湾・空港関係工事  
 ・価格競争  
 ・予定価格内1者の案件

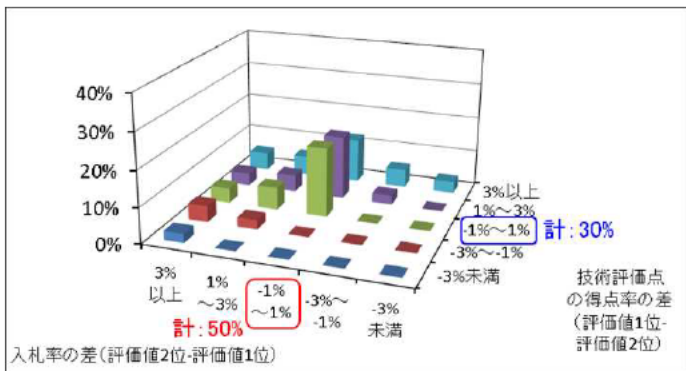
注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定  
 注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者を含む。  
 注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 5. 総合評価の特徴

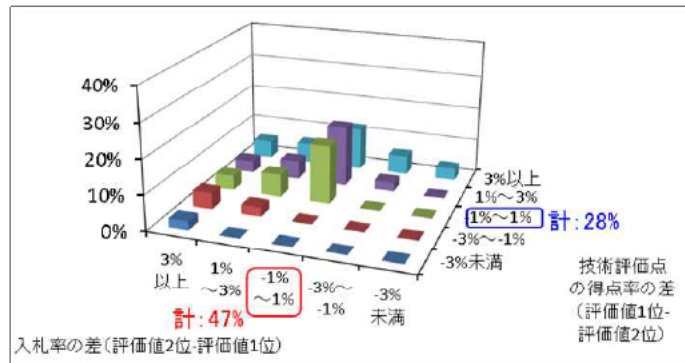
## ②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、「技術評価点の得点率の差」が±1%の割合が36%、「入札率の差」が±1%の割合が76%であり、他の契約タイプよりも高くなっている。

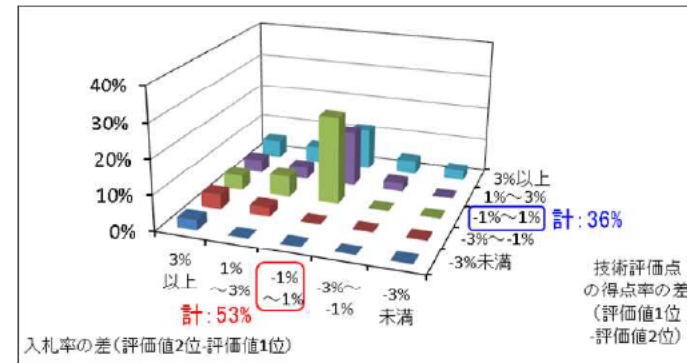
工事件数:4,432件  
平均工事規模(予定価格):232百万円  
平均入札参加者数:4.7者  
〔全タイプ〕



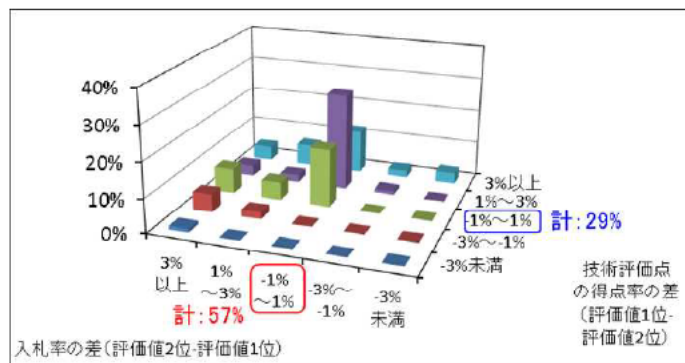
工事件数:3,160件  
平均工事規模(予定価格):164百万円  
平均入札参加者数:4.6者  
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕



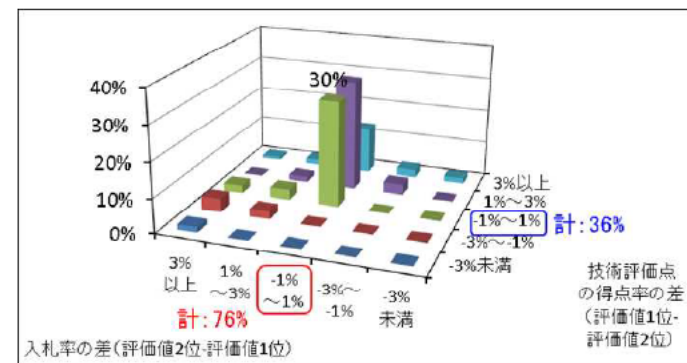
工事件数:1048件  
平均工事規模(予定価格):220百万円  
平均入札参加者数:4.3者  
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕



工事件数:96件  
平均工事規模(予定価格):336百万円  
平均入札参加者数:5者  
〔技術提案評価型(S型)〕



工事件数:128件  
平均工事規模(予定価格):1951百万円  
平均入札参加者数:9.9者  
〔WTO技術提案評価型(S型)〕



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定

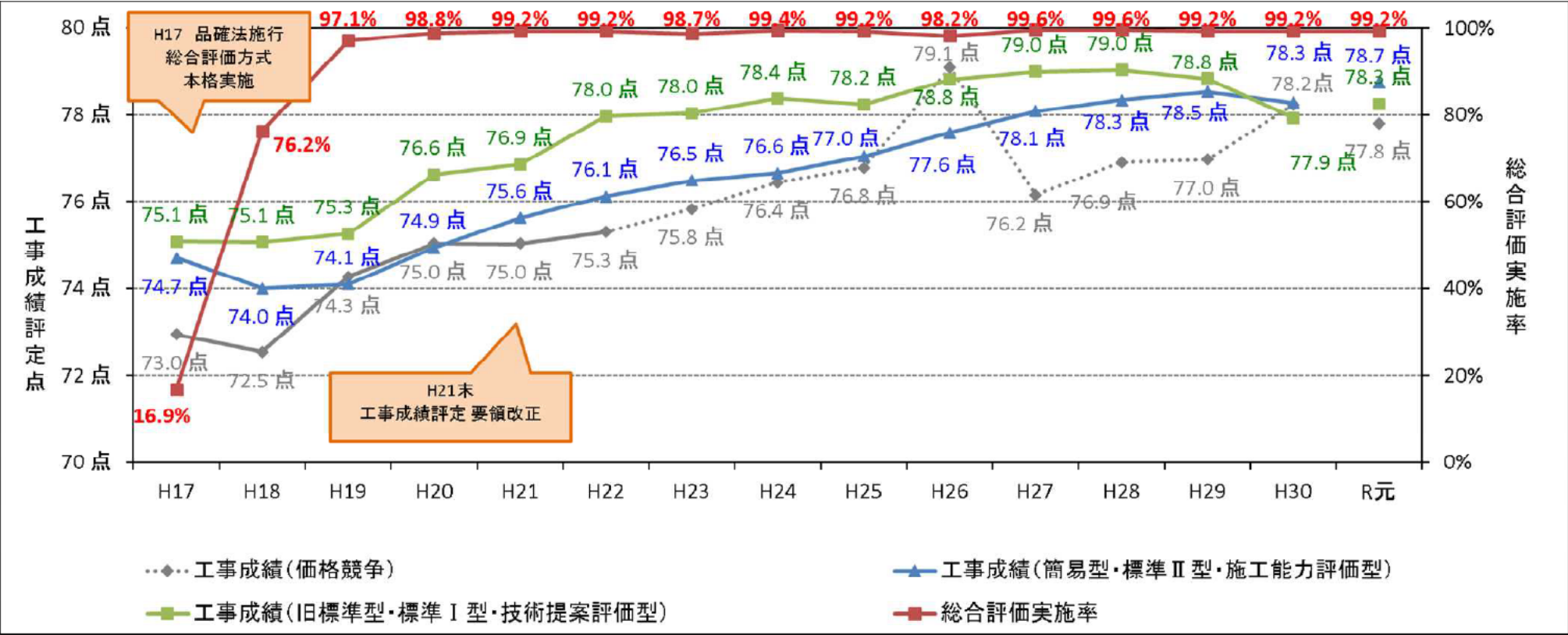
注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者数を含む。

注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

# 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

## (1) 総合評価落札方式の実施率と工事成績評定点の変化

■ 工事成績評定点の平均は、施工能力評価型よりも技術提案評価型が高いが、平成27年度以降は差が小さくなっている。



	H17件数	H18件数	H19件数	H20件数	H21件数	H22件数	H23件数	H24件数	H25件数	H26件数	H27件数	H28件数	H29件数	H30件数	R元件数
価格競争	7,088	2,385	2,054	827	223	193	76	34	50	77	13	20	33	26	30
総合評価(簡易型・標準Ⅱ型・施工能力評価型)	680	4,923	8,269	8,645	8,949	7,643	7,932	7,963	9,129	6,835	6,039	7,339	6,243	5,635	2,541
総合評価(旧標準型・標準Ⅰ型・技術提案評価型)	378	686	921	725	691	211	255	218	455	377	357	294	387	171	16

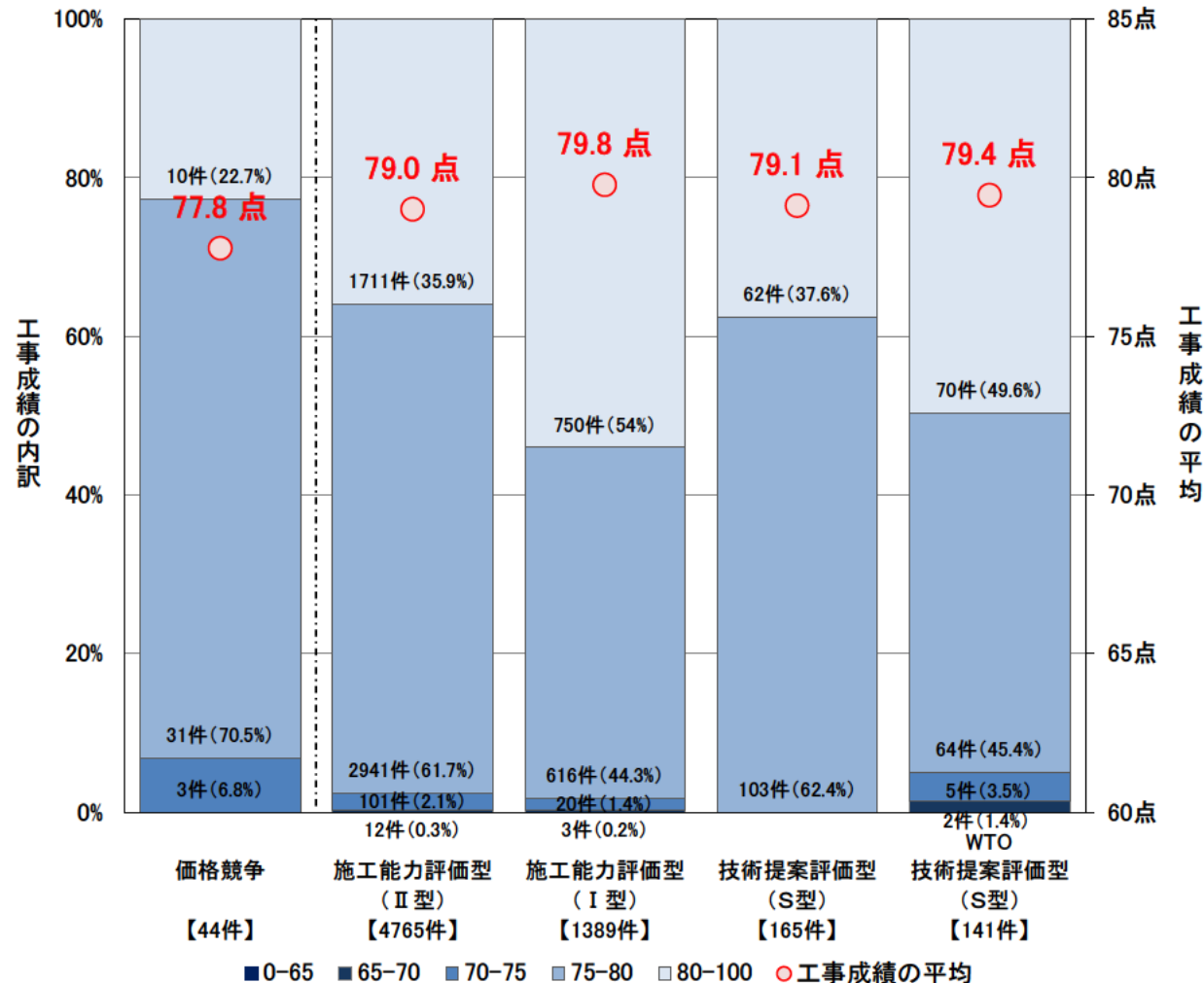
注1) 8地方整備局の工事を対象（港湾・空港関係工事を除く）、価格競争を含む。  
注2) 注1)の工事のうち、契約データと工事成績データとのマッチングができたものを対象に集計(平成30年度完成分まで)

注3) 各年度の工事件数は契約年度別で整理  
注4) 平成26年度完成工事の価格競争には土砂災害の緊急復旧工事が含まれているため、工事成績評定点が高くなっている。

# 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

## (2) 契約タイプと工事成績評定点

■ 工事成績評定点の平均は、施工能力評価型(Ⅱ型)で79.0点、同(Ⅰ型)で79.8点、技術提案評価型(S型)で79.1点、WTO技術提案評価型(S型)で79.4点となっている。



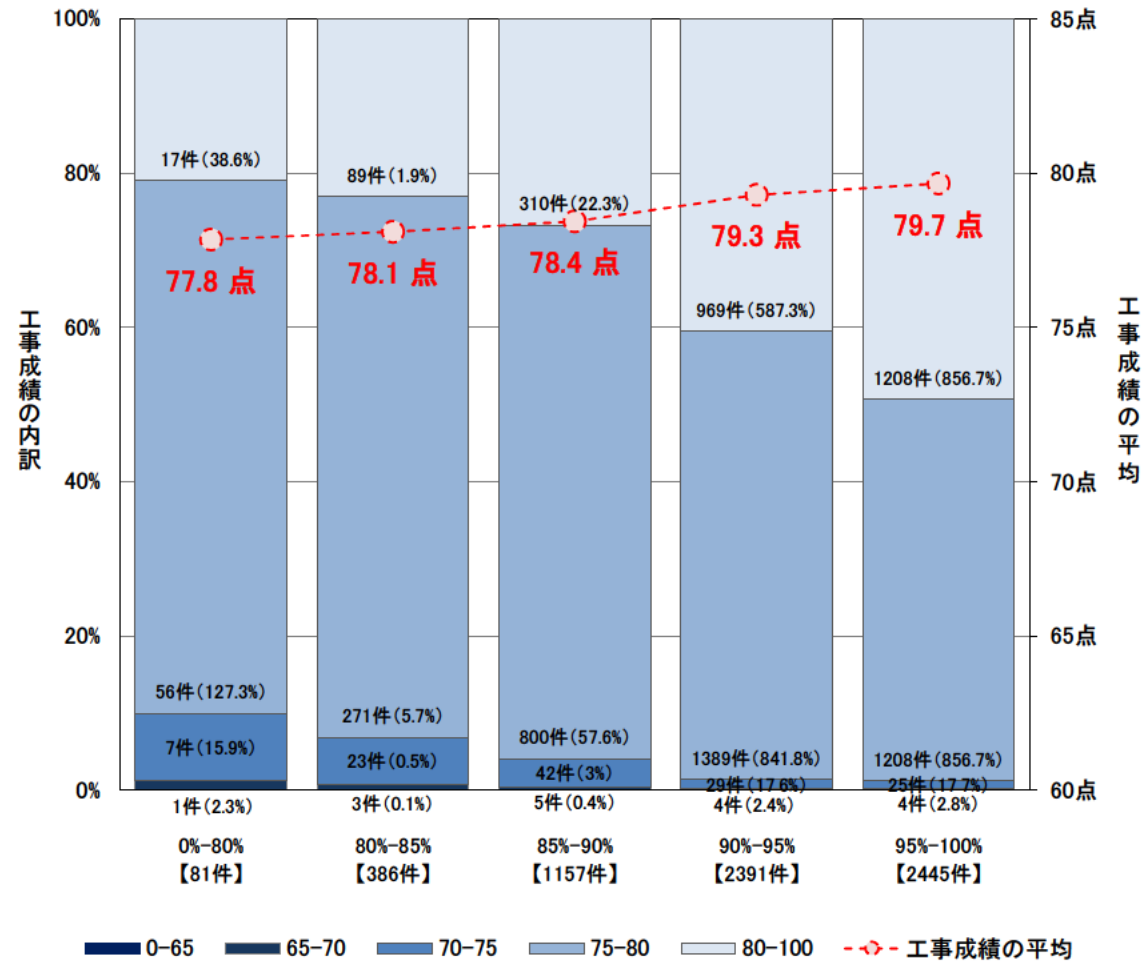
注1) 8地方整備局の平成30年度完成工事を対象 (港湾・空港関係工事を除く)、価格競争を含む。

注2) 契約データと工事成績データとのマッチングができたものを対象に集計。

# 6. 総合評価の導入と工事成績評定点

## (3) 技術評価点得点率と工事成績評定点

■ 技術評価点の得点率が80%未満の工事では工事成績評の平均が77.8点、技術評価点の得点率が95%以上の工事では、工事成績の平均が79.7点と高くなっている。



注1) 8地方整備局の平成30年度完成工事を対象（港湾・空港関係工事を除く）、価格競争を除く。  
注2) 契約データと工事成績データとのマッチングができたものを対象に集計。